

層富

(川口勇書)

会誌名「層富」(そほ・そふ)の由来

私たちが住んでいる平城ニュータウンの地域は、古代には「層富」または「曾布」「添」とも記され、「倭六県」(やまとのりくのあがた)の一つでありました。出典は『日本書紀』の神武即位前紀己未年の春2月壬辰朔辛亥(20日)の条にみえる「層富県」によりました。

題字もはじめ小さく、あと大きくしましたのは皆様の将来と本会の末広の発展を願ったものです。

古代大和の由緒ある地名を理事会の賛同を得て会誌名としました。ご愛顧の程を。(網干善教)



会章

平城ニュータウンの「平」と文化協会の「文」を上下に組み合わせ、単純な円形にまとめ、音如ヶ谷瓦窯跡から出土の古代軒丸瓦の中央部分に配置したものです。蓮華の中の道輪の顔のようにも、二人三脚で楽しんでいるようにも見えます。

(基本デザイン 笥 裕)

(構成デザイン 梶野 哲)

第三十七号【層富】目次

「表紙について」(写真と文)	1
「層富」と「会章」の説明	2
「目次」	3
「巻頭言」	4
「三十七号発行に寄せて」	5
「特別寄稿文」―箸中ロマン古墳ウォーク	6
「寄稿文」―「オンライン飲み会」は、簡単でとても楽しい！	7
「短歌」	8
「俳句」	9
「川柳」寄稿文	10
「グループからの便り」	11
「第三十七回(令和元年)文化祭」	12
「第三十八回(二〇二〇年度)総会報告」	13
「講座・同好会(二〇二〇年度)一覧表」	14
「理事会議事録」	15
「会則」	16
「編集後記」	17
四代会長 日比野 豊	18
市民文化ホール事務長 小南 元久	19
飛鳥学 堀口千秋	20
明政 文男	21

《巻頭言》

平城ニュータウン文化協会会長 日比野 豊

平城ニュータウン文化協会も創設から三十七年が過ぎ、講座・同好会の変革を迎えています。高齢化社会に向かい衰退を食い止めるべく役員一同頑張っております。しかしながら役員の手が無く本協会の継続が難しくなっております。そこで三月の理事会で今後の役員選出方法について議論し、すでに広報でお知らせした選出方法に改正しました。

昨年度は、「朗読を楽しむ会」の誕生、「わくわくニット」の再発足などの良い兆候も伺われましたが、残念ながら今年からデジタルフォト同好会が廃部となり、会員数減少が懸念されます。また今年には新型コロナウイルスの感染予防のため、各講座・同好会の活動が自粛され、活動できる環境が制限されています。

そんな中で小グループや個別の文化的活動をすることは（脳細胞運動・指先運動・口先運動等）は健康的な年齢の若返りに一役買っていることは間違いありません。

活動を通じて生きがいを持つことは長寿命への活力になります。

家族や近隣の人々と絆を深め、新しいものを作る喜びや、地域社会に出てボランティア活動や趣味を通じて地域に貢献する喜びなどいろいろあると思います。

会員メンバー一人ひとりが文化協会を少しでもより良くしようとお友達を誘い、新会員を増やそうと思われればきつと新しい展開があると思います。

会員皆様方のご協力とご支援をよろしく願います。

「三十七号発行に寄せて」

市民文化ホール事務長 小南 元久

本年四月より奈良市北部会館市民文化ホールの事務長に赴任いたしました小南元久と申します。

平城ニュータウン文化協会の皆様には、昭和五十八年の協会設立以来、平城・相楽地域の文化的活動と人と人の交流の中心として幅広く活動を続けられ、街に様々な分野で大きな役割を果たされていることに敬意を表するとともに、当ホール運営にご理解ご支援をいただいていることに厚く御礼申しあげます。

日本では少子高齢化社会が進行し、当地域においても高齢化の波が急速に押し寄せています。また、家庭内の世代交代や経済の状況変化により価値観や社会環境が大きく変化しつつある中において、心の豊かさやゆとりがますます求められる時代になっていくと感ぜられます。そして、芸術・音楽をはじめとする文化的活動は、生活に活気や

潤いを与えて健康寿命を伸ばしてくれるものとして、人々の生活の中に必要不可欠なものになっていきます。

当ホールは平成十六年に文化活動や教養の向上、健康の保持を図り福祉の増進に役立つことを目的に竣工されて以来、平城ニュータウン文化祭をはじめとする様々なイベントの開催や会員の皆様のサークル活動などにご利用いただいております。また、ホールでは、高の原文化講座や施設を活用したイベントなど主催する事業の企画運営に努めております。

今後とも、皆様のさらなるご理解ご協力の下、地域の皆様にとつて使いやすく親しまれる施設運営と文化芸術の振興に邁進してまいります。

最後に、平城ニュータウン文化協会の更なる充実・発展と会員の皆様方のご健康・御活躍を祈念いたしまして層富三十七号発行に寄せてのご挨拶とさせていただきます。

『箸中ロマン古墳ウォーク』

堀口 千秋

朝日新聞に掲載された桜井市箸中區主催の『箸中ロマン古墳ウォーク』に応募し三月一日箸墓古墳の大池堤防に九時半集合。百人を三班にしました。先ず一班が『箸墓古墳』の水を抜いた大池のほとりへ出発。九時過ぎて受付をした私は二班。一班が通り過ぎた後、梯子を下りて箸墓古墳の前方部北側墳丘の裾を歩き、桜井市の教育委員会観光課の森さんという方の説明を聴く。

箸墓古墳は、明治の陵墓制定で宮内庁に「倭迹やまとじ迹と日百襲ひももそひめ姫命の大市墓」として管理され立ち入り禁止になってしまった。それまでは、近隣の人たちは全長二百八十mもある周囲を回らず、前方後円墳のくびれ部分を通り抜けていたとか。今は緑濃い樹木が古墳を覆い、墳丘の裾野に近づくと、全体の姿も定かでない。空から計測した図面によると、前方部は四段築で高さは約十七m。幅約百

三十m。後円部は五段築、径約百五十m、高さ二十六m。三世紀中頃の築造で日本最古の前方後円墳だといわれている。墳丘の裾を歩いてみると、木々の隙間から段築の土盛が垣間見える。足元は、ゴロゴロした川原石で、葺石が落ちて混じっているらしい。土器の破片も混じっているが、「持つて帰らないように」とのお達し。

発掘不可能なので後円部にある埋葬施設は不明。しかし、最近墳丘を発掘しな



くても、宇宙放射線を利用して透視できる技術で、調査が進められている。近い将来、「卑弥呼」か？と話題をかつさらうかも？

後円部を半周して東側の道を東に進み、桜井線の踏切を越え、古そうな神社「国津神社」でトイレ休憩。神社の中を通り抜けて裏側の少し小高い場所に登る。3mくらい四方を網囲いしていて大きな



石が並んで顔を出している。これが、「宮の前古墳」の横穴式石室の天井石だそう。発掘調査は行われていないが、天井石でわかるのだとか。

約十五mの円墳である「宮の前古墳」の墳丘を下ったところに中期の古墳、「堂の後古墳」五十m級の前方後円墳に登る。墳頂からの眺めは抜群で西に大きな箸墓がでんと座り、すぐ東に「ホケノ山古墳」。北にも南にも、ゴロゴロと小さな古墳が散在している「巻向古墳群」が望める。以前は地中探査で「堂の後古墳」は「ホケノ山古墳」より古いのではと話題になったが、発掘調査で出土した円筒埴輪や、ニワトリ型埴輪、須恵器などから五世紀後半の築造と判明した。周濠の痕跡には落ちた葺石も見つかっている。墳頂はすっかり削り取られ、柿の木が数本植えられている。後円部もなくなりまるで円墳のよう。埋葬施設も不明。北に少し歩いたところの古墳「茶ノ木塚古墳」に登る。径約三十五mの円墳で、五世紀後半の築

造。トレンチ調査でここも周濠が確認されているが、削られて埋葬施設は何も残っていない。珍しい鳥型木製品が見つかっている。

南に戻って、堂の後古墳のすぐ東側にある「ホケノ山古墳」に登る。約八十mの前方後円墳。三世紀の中頃、後半の築造。箸墓のような葺石が確認されている。後円部の中央に石囲いのある木槨



が発見され、中に木棺の痕跡。副葬品に画文帯神獸鏡一面、内行花、文鏡、銅鏃や鉄鏃、鉄製武器や工具など。中央の竪穴式埋葬施設の横に、南に開口部を持つ六世紀末の横穴式石室も見つかっている。前方部にも木棺が発見されている。築造時と同時期であるので、もしかすると土器棺かも？



午後は、慶運寺の本堂で講演会がある予定でしたが、新型コロナウイルスのせいで中止となり、急遽野外で教育委員会の方四人のデスクッションを行うことになった。一部道路になっている前部の草むらに間隔を置いて思い思いに座りお話を聴く。「箸墓」と「ホケノ山」の被葬者の関係は？

卑弥呼と補佐役の人かも？ 画文帯神獸鏡は中国製で、卑弥呼の鏡の一枚か？ 横穴式石室の被葬者は中央の被葬者とどんな関係があるのか、三百年近く経て同じ墓に埋葬するとは？ いろいろな意見が出て、楽しいひと時だった。春の日がさんと輝く午後一時に解散。



「オンライン飲み会」は、

簡単でとても楽しい！

明政 文男

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い外出自粛が求められています。さらに緊急事態宣言が出てから今までグループ活動していた公共施設も全て休館になってしまっただけで活動できない状況です。

外出したくてもできない時こそ、自宅にいてもお友だちと一緒に学べたり練習できたり、そして仲間とお酒やお茶を飲む「オンライン飲み会」が人気です。

簡単に楽しい「オンライン飲み会」について解説しますので、ぜひ参考にしてください！

「オンライン飲み会」とはビデオ通話をつなぎながら、グループで勉強や練習をしたり、お酒やお茶を飲んだり、お話しをしたりして楽しむことです。ビデオ通話は、お使いのスマホやタブレット、参加する人の自宅にあるパソコンで手軽に行うことができます。

「オンライン飲み会」は「たくのみ」や「LINE

(ライン)」、「勉強会には、「Zoom (ズーム)」などのアプリがよく使われています。

「オンライン飲み会」の良いところは、①出かけて行かなくて良い、②自分の好きな飲み物と食べ物だけ用意して費用は自分で購入した分のみ、③時間を気にせず楽しむことができます。

勉強会として行う時には、①会場を確保しなくても良い、②重くて多い機材を持ち込まなくて良いなどです。

また重要な点としては、インターネット環境が悪いと映像が乱れてしまったり、音が聞こえにくかったりして楽しい雰囲気壊れてしまいます。快適なオンライン飲み会にするためには安定したインターネット環境にしておきましょう。

「オンライン飲み会」で考慮した方が良い点は、①複数人でビデオ通話することになるため、パソコンやタブレットなど画面の大きいデバイスを使うと参加者の顔が見やすくてオススメです。②スマホやタブレットを使う方は、機器を固定しておくためにスタンドがあれば、最高です。③「オン

「ライン飲み会」は長時間にわたって行われるため、バッテリー消費に注意が必要になります。電源コンセントの近くにしていると便利です。

それでは、オンライン飲み会に最適な三つのアプリを紹介します。

一つ目のアプリは、使っている方が多いLINEです。

LINEグループを作成して、友だち選択、グループ名入力、ビデオ通話を開始します。通知が届いた方は、通知メッセージの下部にある「参加」をクリックすれば、もうオンライン飲み会の開始です。

次に、主に勉強会用に使われる「Zoom」は、リモートワークなどで使われることが多いオンラインミーティングツールです。利用するためにはアカウントの作成が必要で少し面倒ですが、もともとビジネス用途で使われているツールという点もあり画面共有など便利な機能が豊富です。



尚、Zoomは無料で使えますが、三人以上でグループビデオ通話できる時間は「四十分」までとなっていて、時間無制限に使用したい場合は月額制の有料プランへの加入が必要です。ただ、グループビデオ通話を開き直せばまた四十分使えるので、無料版でも十分楽しめるでしょう。※Zoomは最大で百人まで同時参加可能です。

最後は、最も手軽に使えるアプリ「たくのむ」です。この「たくのむ」はオンライン飲み会に特化したブラウザ上で利用できるオンライン飲み会専用サービスです。推奨ブラウザはSafari、Google Chrome、Firefoxとなっています。推奨環境は、パソコンはWindows10、スマホはiPhoneはiOS13、Androidはバージョン10以上です。他のオンライン飲み会アプリは、登録が必要ですが「たくのむ」であればアカウント作成や会員登録など面倒な手続きが一切不要です。ただ、グループビデオ通話の同時参加可能数が最大十二人まで（キャンペーン期間中）なのでサービスより少なめになります。ホームページは次の通り

URLは、<https://tacnom.com/tp>。

使い方は、とても簡単です。主催者は、「たぐのむ」のホームページを見て招待URLを作成し参加者にLINEかメールで招待URL送ります。参加者側も届いたメールにあるURLをクリックして名前の入力とカメラのアクセス許可をOKすれば、手続きが済むのでグループビデオ通話に参加できます。

注意として、退席するときにはグループビデオ通話のページの右上に退席ボタンをクリックして閉じるようにしましょう。退席ボタンを押さないといつ迄もネットに繋がっています。

外出自粛が求められている今の時期は「オンライン飲み会」が盛んです。私も二ヶ月ぶりに遠く離れた家族と飲み会をしましたが、長時間とても楽しい時を過ごしました。「オンライン飲み会」で家族や仲間と楽しい時を過ごし、外に出られないストレスを吹き飛ばして、この困難な状況を乗り越えましょう。



【短歌】

春霞

櫟原 聰

最終の客となりゐる峽かひの夜のバスが曲がれば朧月見ゆ

由良川の水満々と春の日の光とともに海に注ぎぬ

白花の廣野に淡きおもひひとつ置き去りにする修行の僧は

托鉢の途次の夕焼け白花の廣野を茜に染めてゆきたり

若葉風木の揺れよりもゆつたりと散歩の犬の尻尾がゆれる

うらやすにうすむらさきのふさふさと藤にほひたる春日神境

倒れたる櫟の巨木は新しき幹を立たせて甦りたり

好色の巫女の福笹身に受けて巖かなるわが春のはじまり

空もにほへ春花ざかり古歌にいふ花は老いこそさかりなりとぞ

空ぞはつかに曇りわたれる春の日や花曇りとは釈迦の誕生日



明日への隙間

井田 光美

湯に入りて長き吐息をひとつして明日への隙間広くしておく
幾度いくたびも金の銀杏を見て来しが今日の姿を一番と見る

手袋に帽子マフラーマスクして埋うずもれてゆく冬に私は

丸餅のぷくつと膨らむ瞬間は割れてひよこの生まれるような
諦すべめる術もいつしか身につきて二十三時の明かりを消しぬ

春の宵

岩井 幸子

横顔が父に似し人通りすぎ並んで歩く夕べの駅前

母と手をつないで何も語らずに窓に流れる雲を追いかける

古き曲聞けば戻れる若き日に「踊りあかそう」「エデンの東」

逝きし人病得る人増え続けニュータウンとふ町は老いゆく

金星と生駒の山の鉄塔が交信してよ春宵の空



春

鵜川 迪子

臘梅ろうばいをついばみいし二羽この夕べ嘴はしの移り香語らいおらむ

傘さして雨に咲きいる臘梅ろうばいを見舞いておれば無視されはじむ

先駆けの春の光か臘梅の透き通る黄よはるかなコロナ

きじばとが背筋伸ばして歩みゆく地を啄つばむなど知らぬごとくに

風止みて星明かりの空いずこにか鐘の鳴りいるような閑けさ

魂

岡 典子

取り入れた息子のズボンに白い毛が まだここにいる『えん』の魂

鳥の名を姑ははより聞きしを思い出すツツピンツツピンツツピンツツ

玄関の上がり框のゴムカバー車椅子はなけれども姑はおわすよ

にぎやかな声をしりめに吾が家はご先祖様の里帰りだい

夏を経て姑の植えたる秋海棠しゅうかいどう今年は花が満開なりや



思い出辿りて

川端 和加子

ろう梅の萌黄色した花びらは私の好きな早春の花

思い出はとどまる事なくアルプスのスイスの名峰いまも鮮やか

遠き日の懐かしき道友人と夢語りつつ歩みしあの頃

「この道」や「からたちの花」きくたびに遠き日の母思い出のまま

母の日に娘の手料理で呑むビール優しき思い心と和みて

転星の儀式

近藤 好廣

発信器と黄・青色なる足輪見ゆ逃げかくれできぬコウノトリ哀し

このわれを「じいさん」と呼ぶ妻なりきそんな顔かと鏡に糺す

牧水にほれて歌詠む旅に出づ白鳥のすがた今はあらねど

組板の上の鯉なるその気持わが身に及ぶオペ台の上

宇宙には地球によく似し星ありと死は転星の儀式のひとつ



温ぬくとき冬

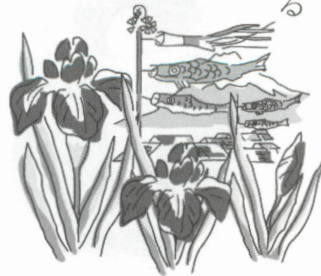
阪上 元

きさらぎの水面はひかりをしぶきけり冠羽なびかせキンクロハジロ
ふかぶかと冬天めざす鷹ひとつ日輪に触れ燃えてしまへり
初捨て場はつすてばに冬をつひばむ山鳥のやがてわらわら茶の木に隠る
何といふ温とき冬よのつたりと鴉いおは水照りに弧を描きをり
春窮しゅんきゆうとふことばの惨さんよ胸裂けし鳩の骸の羽毛散りばふ

水琴窟

田中 みや子

吠えること歌う女ひとありシャンソニエおじさんひととき憂さを忘れる
横浜のホームに佇む激びとヤセ女桜蘭ミイラと同じ乾きか
カレーズに天山山脈の雪どけ水地下を流れてトルファン冷やす
一人居の古家の手水ちやうずは水琴窟リズムをとりとともに生きてる
三回忌アケビあんぐり口あけて笑っているかはらから集つどう



ふたり旅

玉置 小代

二上ふたかみの山裾に咲くさくら花霞のごとく淡くつらなる

山の上の介護施設に暮らす姉と日昏るるまでを過かなごし愛しむ

亡き父とのたった一度のふたり旅祇園の桜は華やかなりき

杳とほき日に父と見上げし桜花はいま老木となりて枝垂るる

散りそむる桜並木のトンネルの遠い出口に入り日が覗く

儚はかなきものは

辻本 典子

去る者は疎しと言うが三室戸は君の面影今も色濃き

ありし日のあなたの姿ふとよぎる過去の事だと忘れえぬまま

生来の淋しがりやの吾なれど猫との暮らしふくよかなりて

明け方に儚くなりぬ腕の中涙と共にただ抱きしめて

なんとなく只いるだけで安らいだあの仔との日々薄れず今も

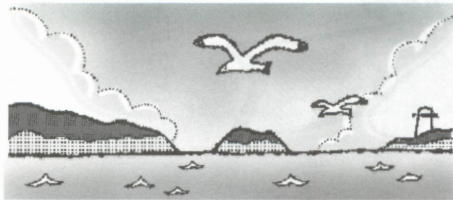


デイスタンス 遠山 京子

ゆらりゆらレースのカーテンながめますグレーの午後にシャンソン流る
チエンバロの音やみし時天上より音楽ふるや神はまだ来ぬ
金色の毛深き腕のピアニストチックコリア氏哲学の顔
ときどきに夢にいでくる窓ぎわの薄日の中でピアノ弾く人
デイスタンス遠き憧れ真夜中にリング煮ている甘き匂いや

葉さくらの風 中 紀子

思い出を断ちきるように古き服捨てれば窓より葉さくらの風
なるようになるわというごとひなげしと雛罌粟は身をゆだねおり湖夕風うみに
高らかに声張り上ぐるや檜扇ひわうぎは葉を揚げゆく初夏の風うけ
雲低く散りゆく紅葉眩しかり窓越しの秋横たわり見る
いますこし歩いてみようか夕暮れの影ふかくなる産土うぶすなあたり



玄関に

野村 道子

新しき年にむかいて歩き出すやり残したるもろもろあれど

奈良市よりななまるカードが送られてそんな年かとじつと手をみる

玄関にバラが一輪あるだけで女王様になった気がする

69をプレコッキーという友あり生きる永さをたのしみにかえ

今ここにいることだけでありがたい あたりまえほどこいことなしかと

喜寿の春

松村 せつ子

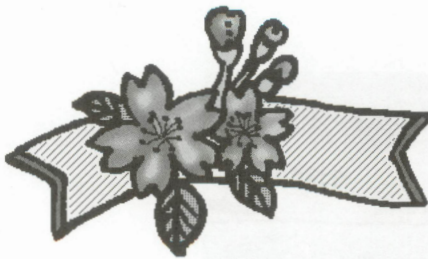
若き日の壁に並びし写真額セピア色なるも笑顔まぶしき

もう少し車に乗ると夫は言い安全装備の新車届くも

はからずも参院選の立会人に いい経験と責務を果たす

歩を合わせ夫とのんびり晩秋の鶏足寺けいそくじへと落葉踏みしむ

さまざまな人の縁えだしに感謝して如月七日喜寿になりました



大仏鉄道

松村 容子

盛り上がる蓮華田みると花摘みをしたくなるなり乙女の気分
色褪せし煉瓦かさなる隧道すいどうに触るるや温もりかすかにありき
褐色の蒸気機関車とおりしか草生い茂る廃線の跡

山峡に荒れの兆しの家並ぶ桜散りしく遺構の辺り

みはるかす傾なだりいちめん野あざみや線路ありしか大仏鉄道

春愁

宮本 郁江

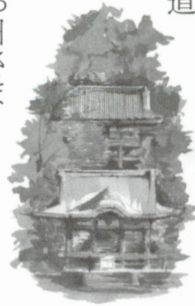
輝けるコロナにウイルス付けられて御立腹もなし令和のお日さま

合格発表直後に電話くれし孫十八年は走馬灯のごと

キャンパスライフ待つ孫の裡にきざまれるや二千二十年コロナ禍の春

地図、パンフ、リュックに入れて卯月待ちさみだれプラン見合わせ五月雨を聞く

春曆コロナで黒く消されゆき籠れば二人在ることの幸



四季

森田陽子

咲きこぼるる山茶花の紅に小雨ふりなべて清しも初春の朝

アマリリス紅く燃え咲くケアハウス終の住処と努めはげまむ

黄金色の鬼柚子枝にたわわなる旧居の庭に夫在さねど

平城山の櫺の小径の秋の詩朱と金との落葉降り敷く

三姉妹先祖偲びて紅葉濃き高野の山に回向に登る



【俳句】

山 桜 小谷 廣子

* 引き水のおふれるし甕^{かめ}山桜

新薬師寺

* 夜桜へ十二神将大扉開け

* 実桜やうすぐらがり^らに水匂ふ

* パッチワークカラフルに縫^いふ生身^{みたま}魂

* 秋うらら大鯉の口寄せ合へり

* 十五夜や采女ひらりと龍頭船

* 鹿鳴いて奥山の闇迫り来る

* 一葉落つ女人高野のきざはしに

* 雪吊りのほどよきゆるび松匂ふ

相楽神社

* 餅花の千の毬揺れ巫女の舞



花匂ふ

山田正子

樹々揺らす晩春の風憂ひもつ

庭隅にポツンと光るレモンあり

赤きバラ三つの蕾天に向け

八重桜ほのかに匂ふ散歩道

赤や黄の花に負けじと白水仙

七月の風

三宅一雄

七月の風に乗りたる軽き蝶

宿坊と僧房繋ぐ蜘蛛の糸

眠る子を抱いて茅の輪を潜りけり

塔の影揺らして奔る夏の雲

眼を瞑り雷神の声聞いてをり



早春

松本義實

野を覆ふ大気の息吹春を待つ

春立つや山に木のごゑ水のごゑ

外とに出いでよ四方よもに広がる春便り

里山の目覚め急かせり春一番

遠山に日の照り映えて春の雪

秋の浜

松村如洋

冬の雨木の間に光るひと雫

台風禍ブルーシートに増す不安

風に舞ひ地に駆けるたる紅葉かな

豊の秋売り場賑はふ炊飯器

子らの声消えて波立つ秋の浜

冬の虹 松村せつ子

手際よく眉を描きをり初鏡

新茶摘む姉さん被り初々し

枇杷熟れて園児の声の弾みをり

釣忍揺れて客待つ夕の風

湖北へとバスの行く手に冬の虹

大夕焼 藤原 勲

暮れ泥む海辺の駅舎冬どるる

新じゃがの転げ落ちとさう一輪車

海峡を跨ぐ吊り橋大夕焼

黄昏の光に染まる稲架襖

梅林や紅白の雲湧くがごと



初詣 東中 渡

露の臺苦味を醸す夕餉かな

青空に花びら映ゆる桜かな

濁声の終始途切れぬ恋の猫

蒼茫の野辺にちんまり土筆かな

柏手に大きな願ひ初詣

懸り藤 西脇岑子

蔦絡みポスト残して空家敷

奈良の春炎が魁けの演舞かな

長雨や名残りの月の見えぬまま

藤棚の花躍るが如くゆらぎけり

山峡やむらさきほこる懸り藤

小 燕 杉田敏江

朱塗膳に一同正座あづき粥
色づきし柵田に沿うて彼岸花
小燕の顔いつぱいに口を開け
銀杏の香りで包む村ひとつ
やぐら干し大根光りて風に揺れ

行く春 相良哲美

ちようざや
手水舎に静けさ掬ふ水の秋
葉陰より覗く夕星霜夜かな
ゆふづつ
儀仗兵のごと裸木の黙の列
願ひ込め飛べたんぽぽよ病窓へ
校庭に声消えしまま春が行く



望の月 大谷とし子

梅雨寒や診察台に口開けて
落蟬へ手を差し出せばまた飛べり
塀越しに雅楽聞こゆる紅葉狩
落つる一葉幽けき音の夕間暮
被災地をあまね遍く照らせ望の月

吊し柿 石野 巖

日を吸ふて風に乾びて吊し柿
風に揺れ四葩の毬の濃く淡く
大地とて持ち上ぐ力霜柱
胸の内話してすつきり夕端居
水ぬるむ水底ついと砂動く

初句会 赤堀 健

渦巻いて吐き出す瀬戸の桜鯛

潔き散り際ありて花筏

枇杷潤ふ確と産毛の残るまま

熱爛や厨に会話戻りけり

初句会初心を今も大切に

滴り 有岡隆子

茱萸^{ぐみ}の実の渋さなつかし幼き日

尾瀬沼を我が庭のごと夏つばめ

滴りの落ちゆくさまや時忘る

朝涼や素足に下駄で回覧板

生きてます細き縁の年賀状



寄稿文【川柳】

島川 恵美子

八年余り受講していた川柳講座が平成三十年五月で閉講になりました。

その一年位前から毎日新聞の「やまと柳壇」に投稿していました。毎回課題があり、あれこれ悩んだり、迷ってはかりですが、これも頭の体操と、誌上に載るのを励みにどうにか続けています。左記の句はこの三年間に採用された中からの自薦です。

ホクとして笑っていたただければ幸いです。() 内は課題です。

・ 歳月が笑い話にする悩み (やがて)

・ 肺活量落ちて風船持て余す (風船)

・ 言い訳を考えながら逢いに行く (言い訳)

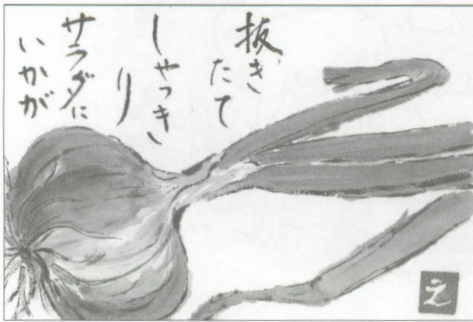
・ イントロである日あの人よみがえり (記憶)

・ 先細り味方がひとりひとり消え (味方)

・ 喜寿過ぎも間に合いますか美人の湯 (温泉)

・ オルガンの向こうに昭和の子らの声 (思い出)

・ やさしい言葉が一番の良薬 (言葉)



グループ便り

短歌を楽しむ会 鵜川 迪子

新聞の広告欄に「こつこつ短歌」にチャレンジしよう」というのを見つけて、これはすぐに手を抜く私への言葉かと思ひ、驚いてよく読むと、それぞれが日頃こつこつとチャレンジしていることを短歌で表現しようというコンタールの募集でした。

万葉時代から受け継がれてきたこの三十一文字は、現代もお文学の一つとして、こんなに一般に親しまれているのだと深く感じました。そういえば百人一首なる歌留多は、平仮名が読めるようになった幼児が大人に混じって一人前に楽しむお正月の行事だったことを思い出しました。

『短歌を楽しむ会』は短歌に親しんでいる人が月に一度集ってみんなで楽しみ合う会です。毎月、第二火曜の午後一時半から始まります。会員は当日までに当番の人に二首を提出し、当番はそれをプリントして当日に配り、会の司会をします。

講師は、『短歌 ヤママユ』の編集をなさっていらつしやる櫛原聰先生。提出歌についての会員の感想、批評、作者の説明が終わったあと、一首ずついいねいにご批評、ご指導をしてくださいませ。

私は、職を辞してからふと町中で出会った友達に誘われて、難しいのではないかと不安を抱きながら短歌を始めてみました。おそろおそろだったのですが、どうにか今も続いています。そして、新聞、テレビなどでも短歌を楽しんでいる方の多いことに気づき、いろいろ教えられます。

なんだか短歌を始める前より、身の周りの自然の変化、ニュースに見る世の中の変化、また、自分の動作、心境など、それぞれの微妙な動きにふと心が留まるようになった気がします。

興味を抱かれた方、ぜひ一度のぞきにいらして下さい。



俳句を楽しむ会 杉田 敏江

私にとつて、俳句は長い間遠い存在でした。それが変わったきっかけは、十年程前に学生時代の友人から届いた「里山に春の句を貰ひけり」という、筆で書かれた一枚の短冊でした。友人達と山里を旅した時のことを詠んだ句でしたが、「春の句を貰ふ」の表現が、俳句へのあこがれの様なものを私の心に植え付けました。

その後しばらくは介護に忙しい日々が続き、俳句のことは頭から離れていましたが、母一人だけの介護になり、時間と気持ちに少しゆとりが持てるようになると、俳句を作ってみようとの思いが出てきました。それで入門書を買って読んでみましたら、「初心者は、まず自分の思ったこと、感じたことを難しいことばでなく、自分のことばで詠むこと」と書かれてあり、句作りを難しいものと思ひ込んでいた私でも、何とかできそうだと安堵したのを覚えています。

そして今、小谷廣子先生の「俳句を楽しむ会」に参加させていただき四年近くになります。よ

き仲間とともに楽しく俳句作りをしています。毎月の句会には、各自で作った三句を持ち寄り、俳句の基本の決まりや季語の意味、切字などの基本を学んでいます。特に先生の教え「俳句は一読して句意が分かり、景が鮮明に見えること」「自分の思いを豊かに伝えられるような『季語』を選び用いること」が大切であることを学ばせていただきました。

これからも先生の教えを念頭に、日々の生活の中でのささやかな感動、自然のうつろいに目を留めたことなどを、自分の言葉で表現できるように努力していきたいと思っています。そして、いつの日か私の一句を短冊にして友へ贈れるようになりたいと願っています。

「源氏物語を読む会」 奥野 光子

数多くの古典文学がある中で最高傑作と謳われる源氏物語は、私にとつて長年無視できない作品でした。ヨガの教室で偶然にも浅田先生と知り合いい、「源氏物語を読む会」の存在を知ったのがきつ

かけです。好奇心から恐る恐る出席してみると、既に九帖まで読みすめられていて、十帖「賢木」からの途中参加となりました。

それから一年が経ち、この講座のゆったりと流れる時間は私の大きな楽しみの一つになっています。

誰の文章だったのか、いつどこで読んだのかも全く思い出せないので、こんな内容が記憶にあります。時代は戦時中、それも戦局がどんどん悪化し、物資も人の心も追い詰められていたころのことです。暗い気持ちで道を歩いていたその人はふと、少し崩れかけた家の門柱に「共に源氏物語を読みませう」と書かれた板を見つめます。それはよっぽど気をつけないと見落としてしまいそうなものだったようですが、その瞬間腕をつかまれ引つ張られるように中に入って行ったそうです。

そして受けた源氏物語の講義はその人を次元の違う世界へと誘います。目の前の暗い現実の中で、生きる希望すらも失いかけていた時に出会った源氏物語は、その人の心を解き放ち、まさに宝物を見つけた経験だったと書かれていたように記憶します。

今、世界中はコロナウイルスの流行によって、どんどん暗く閉ざされていっています。それ以外のニュースはないかのようにコロナウイルスの情報で充ち溢れ、私たち自身もじわじわとその恐怖にとらわれていく。

戦争とは全く異なるものですが、今のこの状態にはどこか戦時中を想起させるものがあるような気がするのです。

感染予防のため、残念なことにみんなで集まって先生の講義を聞くことはできなくなりました。でも今まで習った巻を読み直してみたり、たどたどしく先を読んでみたり、大切な宝物を持ち続けることはできそうな気がします。

「折り紙を楽しむ会」 徳田 弥栄子

新たな気持ちをもって、新年度を迎えましたが、テレビをつけると連日コロナ、コロナと怖い話ばかり。例年だと、今の季節あちらこちらからと、花の便りが聞こえてきました。この事情いつ落ちつくのでしょうか。友人からお誘いがあり、

折り紙教室に入会させて頂きました。

最初、皆様方についていけるか不安でありましたが、先生方や先輩方に丁寧にご指導して頂き、お正月には干支、三月にはお雛様、五月には流鏝馬、四季の花々等、たくさんの作品が出来ました。その中でも一枚の折り紙で鶴を折りました。細い足、お大きな翼を広げた鶴を細い足で立たせた時、嬉しくて今でも感動したことを覚えています。毎月、皆さんとお喋りしながら楽しい時間を過ごしています。一度皆さんもぜひ見学においで下さい。

折り紙教室は、毎月第二火曜日北部会館二階
十時～十五時まで

「わくわくニット」 大西 洋子

私は平城ニュータウンへ引越して来て、もう十五年になります。

知らない土地へ来てお友達も無く、何かで人のつながりが出来たらと思っていました。そんな時、秋の文化祭があると聞き、展示されている会館へ足を運びました。

展示されている皆さんの作品の素晴らしいこと。

そこで編物を見せて頂いた時、編物が好きだったので、私にも出来るのではないかと思います、会の方に聞きましたら、文化協会には沢山の会があり、好きな会にいつでも入会できるとの事、又、「型にとらわれず、自分の好きな物を編んでいいのよ」とも言って下さったので、安心して入会させて頂きました。入会して六年目になります。

リーダーや先輩の方々が優しく教えて下さったおかげで、秋の文化祭に今では何点か出品出来るようになりました。

月一回の三時間、編物の話だけでなく、いろいろな話、編物の手を休めて話し込んでいたり、楽しい時間があつという間に過ぎます。

皆様も教室を覗いて見て下さい。

月一回が楽しみで、早く来月が来ないかなあーと思う毎月です。



「お釈迦様と涅槃図の物語」

二月十五日（陰暦）は、お釈迦様の入滅日（涅槃・ニルヴァーナ）で全国の多くの寺院では涅槃図を掛け「涅槃会」の法会を行います。（三月十五日の場合もあります。）

涅槃図にはお釈迦様が沙羅双樹の間に身を横たえ、たくさんのお弟子や国王・大臣・天の神々、動物たちがその死（涅槃）を嘆き悲しんでいる場面が描かれ、『遺教経』を誦したり、涅槃講式を読んだりして法会を行います。

日本での涅槃会は、推古天皇のとき奈良の元興寺で行われたのが最初ともいわれています。現在でも最も有名なのは興福寺本堂で行われる常楽会で、『大般涅槃経』が説く涅槃の四つの徳、「常楽我浄」にちなむ）二月十五日に八相涅槃図を掛け僧侶十名の「舍利和講」声明に合わせて春日大社楽人により雅楽を奏楽されます。また散華も行われます。

お釈迦様は二十九歳の時に修行に入られ五十年

の伝導生活を送られました。そして、八十歳を迎えられ、最後の旅は、弟子の阿南と南の霊鷲山を経て祇園精舎を目指す旅でした。

二月十四日入滅の前日に波婆の都に至り、城外の樹園で休息されました。お釈迦様の到着を知った純陀は心を尽くして食事を作りました。

純陀は梅檀樹の茸を煮てお釈迦様一行に奉りました。お釈迦様は食された後に「純陀よ、残った茸料理は穴に埋めよ。如来のほかに、それを食し



図1. 涅槃図

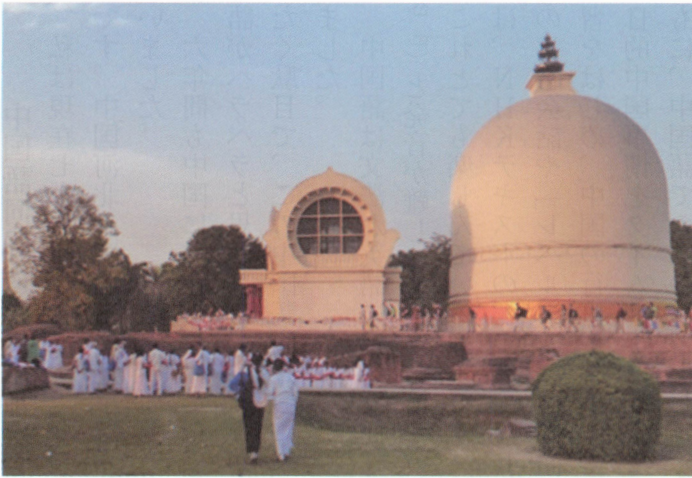


図4. クシナガラ涅槃堂

釈迦が火葬された場所に建造されたスツーパー（ラマバハースツーパー・荼毘塚）荼毘に付されたお釈迦様の舍利は最初八分割された。
クシナガラの涅槃堂とスツーパー（仏舍利塔）

世界から多くの巡礼者が訪れ涅槃堂の周辺で講話を聴く巡礼者たち。



図5. 釈迦涅槃像

涅槃堂内の釈迦涅槃像
涅槃仏は右の手を頭の下に置き、穏やかなお姿で「頭北面西」の言葉通りに横たわっています。
釈迦様の足先が少しずれており、それがインドでは涅槃の姿であるとされています。

中国語同好会 神澤 章

私は現在七十才〓古希です。今の中国と同一年です。中国河北省唐山市に仕事で六年間駐在していました。

六年間も中国に駐在していたら、さぞかし中国語がペラペラと思われるでしょうが、それがまったく駄目で、この中国語同好会に来るようになりました。

中国語は文法が英語に近い反面、「四声」(ā ā ㄛㄛ)と発音が難しく皆さま結構苦労していますが、これとても楽しんでいる様子です。初級コースでは、NHKテキストの「おもてなしの中国語」での日常会話や「レベルアップ中国語」での発音練習をはじめ、中国の行事や時事、生活習慣など今日的中国事情をタイムリーに教えていただくとともに、中国語での歌の練習もしています。応用コースでは中国の詩を中心に勉強しています。

中国語同好会は、現在二十五名前後の会員ですが新規加入の



方も増えています。男女ほぼ同数、年齢も近い方が多く、お花見や新入会員の歓迎会など自由参加のイベントも盛り上がり、また秋の文化祭では中国語の歌を披露、発表も予定しています。

講座は第五週を除く毎週木曜日の午前中(初級コースは九時十五分〜十時三十分、応用コースは十時四十五分〜十二時)に開かれます。詳しくは「中国語同好会のご案内」

《<https://heijyo-newtown-china.jindofree.com/>》をご覧ください。

二〇二〇年は新型コロナで厳しい状況ですが、東京オリ・パラ、二〇二五年は大阪万博です。この機会に、面白くてためになる中国語同好会へご入会ください。見学も大歓迎です。

ITを楽しむ会 明政文男

私たちの会は、「パソコンやスマートフォンでインターネットを活用して明るく楽しい生活を！」をテーマに活動しています。最近では、コロナウイルス感染防止のため外出をためらう事も多いと思

います。こういう時にもパソコンやスマホは、大活躍します。

例えば、このご時世にスーパーなどへ買い物に行くのも気を使いますので、インターネットでスーパーの「楽ネット便」で買い物をして配送するという方法があります。配達料は、一回三百円ですが、税抜き三千円以上購入すると無料です。自分で手に取って見てみないと変な商品が来ても心配という方もおられると思いますが、その点は心配ないです。近商の店員さんが新鮮できれいな商品を選んで配達してくれます。また、TVの放送は見飽きた方は、Netflix（料金月額八百円税抜きでお試し一ヶ月無料）やAmazonPrimeの映画やドラマをお勧めします。有料ですが見放題です。時間の余裕のある時に何か新たな趣味を身に付けたいという方は、YouTubeをお勧めします。パソコン、スマホの勉強はもとより音楽や語学の動画などがたくさん投稿されています。ちなみに私は、ウクレレを練習しています。

このようにシニアの生活に役立つ内容をどのよ

うにして活用していくかを勉強しています。

皆様のご協力でこの会は今年四月で三年目に入りました。スマートフォンクラスでは、アンドロイドやiPhoneで共通できるアプリを中心に習得していきます。具体的には、電話、メール、LINE、マップ、クローム、カメラ、GooglePlayストア、AppStore(iOS)などです。なお、全くの初心者のかたに分かりやすく説明する時間もありますので、ぜひ安心してご参加ください。パソコンクラスは、ご自身でWindowsパソコンを持参して頂きます。内容としては、Windows10、オフィスソフト、インターネット、ホームページ作成ソフト、画像編集ソフトなどを勉強します。またIOTを実践していただくために、マイコンボードと周辺部品を用意しています。勉強して来た内容を活かして独自のホームページやプレゼン資料、表計算ソフトで住所録や家計簿などの作成、そしてIOTではスマホでコントロールするミニカーの作成も予定しています。詳しくは、このホームページをご覧ください。

<https://www.7crysstalsky-heijyoit.com/>

「朗読を楽しむ会」 真中 礼子

「朗読を楽しむ会」は辻本典子先生のご指導の下、約二十人の会員が月一回の頻度で例会を楽しんでいます。

毎月の例会は、予め辻本先生が選定して下さった教材を用い、第四金曜日に北部会館で開催することを原則にしております。毎回、朗読の前に準備運動をしつかりと行い、その後、正確な発声と滑舌を良くするため、早口言葉の唱和などを全員で行った後、朗読の実習に入ります。

辻本先生のお話の後、朗読の第一段階として各会員が順番に文節ごとに輪読し、その次の段階で一人ずつ通読することになります。

ただ例会が月一回開催と云うこともあり、どうしても自宅での練習が不可欠ですが、「朗読は老化防止に有効」との辻本先生の言葉を励みに勉強を重ねています。例会では、辻本先生の朗読をお手本にすることは言うまでもありませんが、十分に練習を積まれた会員の方々の朗読を通し、その作家の描いた情景を想像しながら聞くことは自分自身の勉強にもなり、聞く事の重要性を改めて実感

しております。

なお毎回、辻本先生は、和服姿で講師を務めておられ、例会は和やかな中にも、凛とした雰囲気

が漂い、充実した時を過ごしております。
現在、会員の大部分は女性ですが、男性も二名おられ、朗読の役割分担の中で重要な役割を果たしております。

また本年度は秋の文化祭で成果を発表の予定ですが、晴れの舞台に向け、これからますます練習に取り組んで参りたいと思っております。



「料理を楽しむ会」 魚野 久江

知人からのお話で料理教室があるのを知り、毎日の食事のマンネリ化をさける為、新しい料理を覚えられるならと思入会させていただきました。松村先生の和食料理、中華料理、西洋料理、デザート、旬の食材を使った料理等レシピの多さに驚きながら楽しく習っております。

月一回ですので話に花が咲きほこり、にぎやかさの中、先生が食材を前にして本日のレシピの説明があり、四班に分かれて作り始めますが、ベテランの主婦の集まり、先々と手と口が動き、「違うでしょう聞いてなかった」とお叱りが度々。でも最後にはレシピ通りの料理がいっぱいテーブルに並び、夕食のメニュー決定と思いつきながら食べて後片付けして満足顔で次回を楽しみに帰ります。

また、西公民館祭ではカレーライス、五目ご飯、豚汁、ぜんざい、いろいろなスイーツ等を作り、皆さんから好評を頂いております。

料理を楽しむ会は平城西公民館

第三木曜日 午前九時半～十二時

一緒にお料理づくりを楽しみませんか。
ご参加をお待ちしております。



押し花とブリザーブドフラワーを楽しむ会

中岡 美幸

一昨年二月、職場の同僚に、退職する友人の贈り物を相談したのがきっかけでした。

講師の高橋先生のお店（花織）を紹介して貰い、体験に行かせて頂きました。

ブリザーブドフラワーは、造花やドライフラワーと違って、色鮮やかで瑞々しく、生花と違って、お世話もいらずに長期間楽しめます。正に良いところづくしのフラワーだと思います。

センスのない私ですが、先生のご指導で簡単に完成できたことがうれしくて、先生には、手作りする楽しさや喜びを教えて頂きました。

何度かお店に通うようになると、そのうちに、押し花にも興味が湧いてきました。

先生は、平城ニュータウン文化協会で講師をされていると聞いて、直ぐに友人と二人で見学に行き、その場で入会させて頂きました。

押し花は奥深く、美しく鮮やかな色に押せるようになるには、まだまだ難しいです。

それでも、年一回の文化祭と奈良朱雀生協の作品展に「押し花額」を展示させて頂けたのはとても嬉しかったです。

講師の高橋先生は、明るくいつも元気で魅力たっぷりの先生です。

作品の最後に魔法の手を加えて下さると、見えるように立派な作品に生まれ変わります。

ここで出逢った先輩方は、皆さん、とても親切で楽しい方ばかりです。

経験が豊富で趣味を超えて楽しんでおられるので、皆さん、とても若々しく活き活きと輝いておられます。

高齢化社会と言われていますが、指先を動かして脳を活性化し、好きなことをすることが若さの秘



訣だと思えます。

私も趣味を持ち、これからの人生を楽しみたいと思うようになりました。

一か月に一回、この教室に通うことを待ち遠しく思っています。

毎月、第四水曜日午前十時～十五時位まで右京ふれあい会館にて、皆で楽しくやっています。

随時体験も行っておりますので、是非お立ち寄りください。お待ちしております。

「古文書講座」 米田 悦子

ある勤務地でのこと。君たちはどんな字を書きたいのかと話をしたことがある。そして見本に見せたのが九成宮醴泉銘と野口英世の母堂シカの手紙である。

前者は唐の太宗の避暑地に甘い水が出たというめでたさを文にし、それを欧陽詢が文字に起こした。当時は七世紀、楷書という書体がその美しさを極めた時代。魏徴の撰文で、泉は徳政を敷かないと湧かないと皇帝を誉めあげているせいもあり、

余計に気品高い。

対してシカの文字である。公教育で文字を習ったことのない彼女の字は拙い。が、息子の渡米後一二年が経ち、会いたくて仕方のない母の思いは海を越えて彼のもとに届く。最初この文には明らかに困惑を示す。勿論だ。表記も不完全で「出世」は「しせ」、助詞の「は」は「わ」と書かれ読みにくい。しかし彼女の人となりが見えたとみな食いつけるように顔を近づけている。きれいな字を書けるのは技術としては良い。しかし今心を掴んでいるこの文字はその人の人生が生んだと、少々説教臭いことだが若い十代前半の五感と心に訴えておいた。

さて古文書のこゝとである。二〇一六年にこの門をたたいた。くずし字



に触れるのは大学の古典演習以来である。この隔週の講座は知らないテキストが提示されるシステムだ。皆さんは意欲的に取り組まれる。次の講座日には先の内容が会話に出てくる。沼田裁定では参った。真田が北条が織田が秀吉が、ああしてこうして……。ああ背景が知りたい。そしてその上で書かれた文字を味わいたい。

「トールペイントばらの会」 有岡 隆子

トールペイントばらの会の紹介をさせていただきます。この会は、毎月第二水曜日の午後一時から四時まで、場所は平城西公民館です。

トールとは元々はブリキを意味する言葉だそうです。いろいろな技法がありますが、西本先生が教えて下さるのはアッセンデルフトというオランダ式です。木やプラスチック、ガラス、布等色々な物に描く事が出来ます。

「私は絵心がなくて」という人がいますが、バラ、チューリップ、鳥など様々なパターンがあり、それを組み合わせる美しい模様を作っていきます。



ですから、パターンを学習すればだれでも出来るようになるそうです。

皆それぞれに自分の作りたい物を持って来て自由に描いています。

古い物が自分の絵で美しく変身するのは楽しいものです。最後に先生がちよっと手直しをして下さると、グレードがぐんと上がります。美しい物を愛する心を持ち続ける事が若さの秘訣。

皆さんも一緒に楽しみませんか、お待ちしております。

英語講座

佐川 道夫

日本語を喋れない孫達とどうにかしてコミュニケーションを取りたいと思っていたところ、妻の知り合いからこの英語講座を教えて頂きました。それから三年。毎週月曜日の午前の二時間、英語の勉強の合間に病気や薬の話で盛り上がっています。

一時限目は中学英語の教科書を使って基本文の勉強です。読むのは簡単だと思っておりましたが、



テープを聞くと大変。A、B、C、等の前置詞は聞か
えません。

数は頭に数字を描いている間に前の数を忘れて
います。十五なの 五十なの？ 日本語の数字は
四桁で呼び方が変わりますが英語は三桁です。

頭で換算している間に文は終わっています。結
局何を聞いたのか判らなくなっています。耳を慣ら
すのが大事と一生懸命きいています。

二時眼目は英語の歌から始まります。童謡二曲、
ポップス三曲です。童謡の速さになかなか追いつ
きません。

歌詞を覚えたら追いつくかも知れませんが一〇
秒で記憶が消える質なので口パクでごまかしてい
ます。ポップスは昔ラジオで聞いていた曲が多い
のでどうにか歌え、いい気分の時間です。

Knock、Knockの時間では英語の親父駄洒落を
勉強しています。このKnock、Knockが米国映画に出
てきたときいい気分です。

落語を英語で勉強するコーナーではテープで聞
くときは知らない単語や文章の長さに頭がついて

いかず、話は知っているのに笑えません。英文を
読むと大体判るのですが、聞いて判らなければ落
語じゃないだろうと耳を慣らすために努力してお
ります。大体この辺りで時間が来ます。

孫が高校生・大学生になった今では、こちらの
英語のレベルでは会話になっていませんが曾孫に
は通じるように講座に参加しています。

今年はCOVID-19で駄目でしたが、毎年「桜を
見る会」と「クリスマスパーティー」では弁当持
参で楽しいひと時を過ごしております。

歌声サロン 西川 治美

私が「歌声サロン」を知ったのは、二〇一八年
十二月のことでした。近所の人に、北部会館で
色々楽しいサークルをしていると聞いて、一度見
学に行つて見ようと思ひ教室に行つて見ました。

知っている人は全然いませんでしたが、エレク
トーンの演奏に合わせて知らず知らずのうちに歌っ
ている私でした。大きな声で、昔からの懐かしい
歌を歌うと、すぐく何かスッキリと楽しくなって

きます。

長い間パートで働き、それも定年になり、それからは特に何をするということもなく、家にこもる毎日。出かけることと言えば、日々の買い物、友人と時々食事や神社参拝に出かけるという具合。認知症予防や身体のためにも、もっと外に出かけなければと思い、とりあえず歌声サロンに翌月から正式に参加することにしました。

それからは毎月一回行くことが楽しみになり、秋には「平城ニュータウン文化祭」の催しで舞台に立ち、歌うことになりました。人前で、そして舞台上で歌うなんて、何十年前の高校のコーラスのコンクール以来です。ドキドキしながら舞台上に立って、観客の皆さんの前で歌うと、それまでの心配はどこへやら、意外と気分はノリノリ。何で



もやってみるものだと感じました。

実際に大きな声で歌うことは、楽しい時はもちろん、少し悩みがあつて、気分が優れない時やストレスを感じている時でも、歌っている時だけでも忘れさせてくれます。そして歌を通して昔の思い出が、何十年前の出来事が、さっと目の前に浮かんでくる不思議。「本当に歌っていいな！」と心底感じています。

今、「新型コロナウイルス」の感染が世界中に蔓延して、「歌声サロン」だけでなく、あらゆる行事や催しが出来なくなり、大変な状況です。また皆で歌う日が来るように、早く終結することを祈るばかりです。

ゆつくり歩こう会 柳本 博文

二〇一〇年平成二十二年五月第一回ゆつくり歩こう会が発足して、今年で一〇年になります。開催回数も六十六回と伸びています。小嶋先生との下調べで、パンフレット通りでない、安全な道を探し出し、行程表を作成していただいております、今

まで一度も事故もなく楽しく歩き続け、皆さん完歩されています。先生には感謝申し上げます。皆さんは各回、歩くだけでなく、野草を愛で、石碑の俳句・万葉集など解説し、名所の花や歴史的な建物を見て感嘆の声もでていました。今年は一〇周年記念としてどこがいいか？何がいいか？リクエストを募集いたします。

開催をお楽しみに。

今年の例会は次の通り

- ・令和元年五月一二日「平群の里と古墳探訪」
長屋王の墓や古墳群の多さにびっくりしました。
- ・令和元年六月九日「高校ラグビーの聖地『花園』と東大阪街巡り」
ラグビーワールドカップ二〇一九が開催される現地を先取りした感じでした。
- ・令和元年九月一五日「六〇回記念バス旅行 日野町散策とブルーメの丘散策と体験」
- 日野町のボランティアガイドは丁寧な説明にうっとりしました。

・令和元年一〇月六日「唐古・鍵遺跡中心に周辺



第65回 ゆっくり歩こう会 初詣 平安神宮 19.01.19

を探訪」

田原本が能楽のゆかりの地とは知らなかった。唐古・鍵考古学ミュージアムはもう一度ゆつくり見たい場所でした。

・令和元年十一月十七日「多武峰・飛鳥の里の秋を満喫する」

談山神社の紅葉は真つ盛り。万葉文化館では無料開放の日に当たり、棟方志功の版画展が無料で見ることができました。

・令和二年一月十九日「初詣・平安神宮と御所見物」

八坂神社から知恩院を巡り、平安神宮で初詣をし、京都御所では令和元年から申請なし・無料で拝観できるように、ボランティアガイドの説明もあり、御所の造りがよくわかりました。

・令和二年四月五日「奈良の桜・八重桜と散策 奈良公会堂の北側には色々の桜が満開で穴場でした。

「絵画・絵手紙の会」 島川 恵美子

絵手紙の会には二カ月遅れての入会ですが、先生はいつも穏やかで、楽しく集中しているのか二時間がとても短く感じます。

大きさはハガキサイズだし、画材は身近にある花や果物、野菜等を自由に描けば良いとの事。それなら私にもと軽く考えていましたが、下書きなしの一発勝負のため最初の線は緊張します。色で何とかと塗り重ね却って変になり、最後に気のきいた一言をとあれこれ迷い悩んだりで作品というには程遠い出来です。

それでも描き終えた時の満足感は大きく、季節の



移り変わりや周りの名も知らぬ草花や、小さな木の実に
も気を止めるようになった事を実感しています。

持ち寄りの画材を貸し借りし、同じ物を描いても
いろいろな角度から眺めどこを中心にするかで、
出来上がった絵やそこに添えられた言葉にその人の
個性が出ておもしろいなあと感じ入っています。

絵手紙ですから落款（といっても手作りの消し
ゴム印ですが）を押して仕舞い込むのではなく、
ちよっと恥ずかしいのですが、友人知人に送り、
相手の方からの暖かいお言葉を真に受け、嬉しく
てまた励みになり、ずっと続けたい趣味の一つに
なりました。

北部会館の二階で第一と第三の火曜日午前中、
気軽に覗いて下さい。

文化協会のお陰で数ある講座の中から興味のある
講座をいくつも受講でき、八十歳になっても時
を忘れて楽しめ、日々の暮らしに根付いている事
を本当に嬉しく有り難く、感謝しています。

講師の先生方には今後共ご指導の程、どうぞよ
ろしくお願い致します。

「万葉書き方教室」 中西 恵子

きれいな文字を書きたくて、以前の「平城ニュー
タウン文化祭」の刺激をうけて入会しました。

毎月何を何となく、それでも忙しく過ごしていま
したが会員になってからは、毎日二十分から三十
分テレビも消して、机に向って静かな時間をすご
すようになりました。

お手本は先生が作ってくださいます。

硬筆ペン、中字ペン、筆ペン用と三種類ありま
す。苦手なものがついつい後まわしになってしま
います。書けば書くほど肩に力が入り、思うよう
にいきません。三枚とも清書して先生に
見ていただくことができます。

せん。先生は、ほんの少し
の良いところを見つけては、
ほめて下さいます。先生も
大変です！

私の方は調子にのって続けています。先生のほ
め育てのおかげです。

毎月第三土曜日 十三時三十分 北部会館にて



練習しています。

ぜひ一緒に先生にほめてもらいましょう。

「詩吟の経験」 多鹿 治良

ある日、友人が平城の公民館で、詩吟を習っていることを知り、心が少しざわめきました。実は、大昔の学生時代に、一時、詩吟クラブに所属し、大声をはり上げていたからです。

懐かしくなつて、すぐ友人に頼んで、公民館での練習を見学させて頂きました。練習風景は、女性の方が多く、ソフトな感じでした。

なにより、皆さんが楽しく詩吟されているのを見て、少しうれしくなりました。

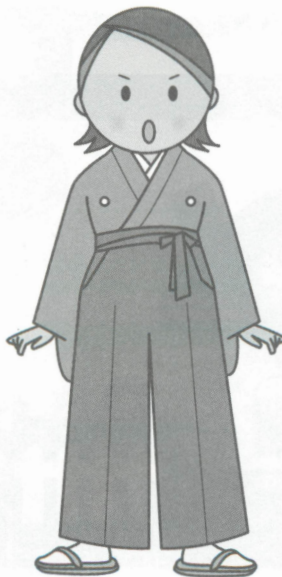
昔の練習風景は、男世界で発声が中心で、力強さが強調されていました。当時一回生二回生は合吟が中心でなおさらです。在籍中、発声以外の詩吟の勉強は、余り出来なかつたと思います。

そして今、早いもので平城西公民館、真風流に入会して、約二年になります。入会して本当によかつたと思っています。

この間、西尾先生、大村先生そして会員の皆さんに厳しく指摘、指導いただきました。思うに、この真風流の指導は、言葉を非常に大切にしているのが印象的です。

私も、詩の意味、言葉の意味を大切にして、味のある詩吟ができればと思っています。

練習日 第三水曜日 平城西公民館
午後一時～三時



「パッチワーク研究会」 成田 美智子

平城ニュータウン文化祭でパッチワークの作品に出会った折に私もやってみたいと思っていました。

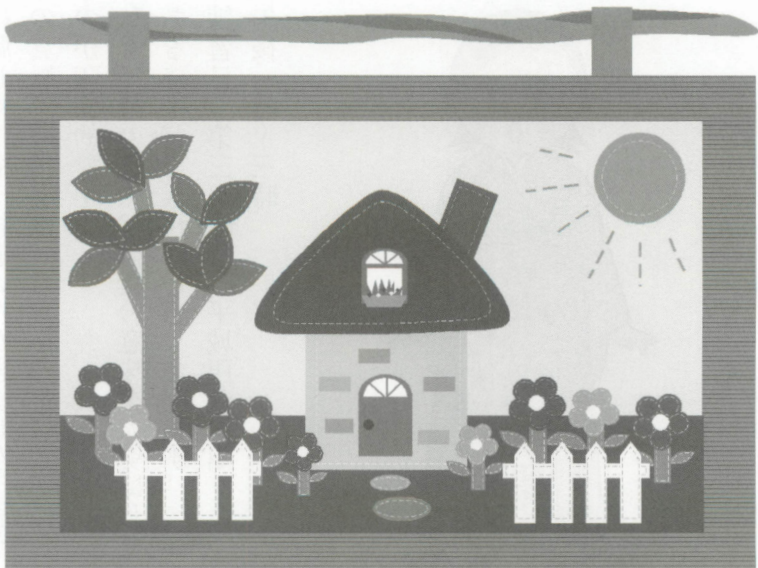
介護生活も終わり毎日が私の時間となり、パッチワーク研究会に入会致しました。

メンバーの皆様の作品に触発されて私も、頑張らなくてはと思います。

昨年の文化祭に、念願だったベッドカバーを制作し、ゲストルームのベッドカバーとして掛けていますが、眺めては幸せ気分になっています。

これからも気負わず続けて、ひとつずつ作品を作っていきたいと思っています。

コロナウイルスが早く終息して、パッチワークの皆様とお会いできる日を願っています。



第37回平城ニュータウン文化協会(令和元年)文化祭

《 記 念 講 演 》

奈良大学教授 土平博先生の記念講演会

<日 時> 令和元年11月2日(土)

開会式 13時～13時30分

司 会 古川千鶴子

講 演 13時30分～15時

会 場 奈良市北部会館3階 市民文化ホール

演題 【伊能忠敬の大和路測量
—地図と日記から軌跡をたどる—】

海岸線を測量して日本全体の形を描いたことで知られる伊能忠敬は、この内陸の奈良盆地にも来て測量をしています。その測量成果は地図にも表現されています。あわせて日記も記しています。

測量の軌跡を紹介しながら、伊能図の見所を解説されました。奈良盆地の町や村を順番に通っていくルートを確認していくと、その軌跡は神社仏閣を多く旅していることに気づきました。

「土平博先生のプロフィール」

経 歴

1990年 奈良大学文学部地理学科卒業

1995年に関西大学大学院博士後期課程
単位取得

1995年奈良大学文学部地理学科助手

2003年奈良大学文学部地理学科講師

2007年奈良大学文学部地理学科准教授

2014年～奈良大学文学部地理学科教授

著 書

『ジオ・パルNEO第2版－地理学・地域調査便利帖－』（共著、海青社・2016年）

『伊能忠敬の大和路測定と寺社参詣』奈良大学紀要、2011年



第37回平城ニュータウン文化協会(令和元年)文化祭

《展示作品の部》

11月2日(土)・3日(祝)・4日(月・振休) 午後10時～午後17時

(但し2日は12時半開場、4日は16時閉場)

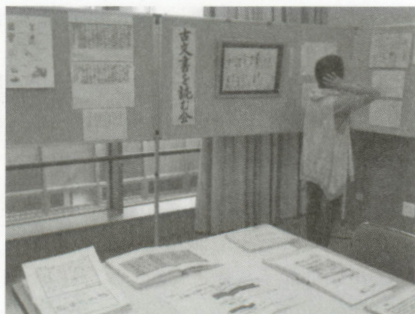
会場 奈良市北部会館3階 会議室 多目的室他

グループ紹介と出展者

◆ 古文書を読む会 リーダー 石川恒久

会が発足して今年9月で丸15年。この間のリーダー作成のテキストや参考資料は1,000枚を超えました！文化祭では“会の歴史”とも言えるこれらの貴重な資料も閲覧可能です。また今期学んだ中から数点、書き下し文と読み下し文も展示しています。是非一度、展示室をのぞいてみてください。武家文書、地方文書、私的書状、瓦版、旅日記…様々な形で残された文字や文章に触れることで、近世社会の真実、武士や庶民の生活を直に感じてみませんか。

例会は毎月第2・第4土曜日10時～11時半、右京ふれあい会館にて。



◆ 短歌を楽しむ会 講師 榎原 聡

ご指導いただいている榎原先生は、歌人であり、国文学の研究者でもあります。

お忙しい中、温かいご指導を受けています。日々の暮らしの中で見聞きした素材や感動を三十一文字に表す短歌。ちょっと心の中を覗く気がします。

展示はそれぞれ作品を自選したものです。貴重な先生の作品と添付したメモをご覧ください。

* 出品者：榎原 聡先生・井田光美・岩井幸子・鶴川迪子・岡 典子・川端和加子・近藤好廣・坂上 元・田中みや子・玉置小代・辻本典子・中 紀子・野村道子・松村せつ子・松村容子・宮本郁江・森田陽子

◆ 俳句を楽しむ会 講師 小谷廣子

小谷廣子先生を迎え、月一回、自作を3句持ち寄って句会を行っています。互選した句を批評しながらワイワイ、ガヤガヤ、とても楽しい和やかな会です。年に一度は、歳時記(季語集)片手に吟行にも参ります。

皆さん、私たちと一緒に俳句作りを楽しんでみませんか。

* 出展者：小谷廣子先生・赤堀 健・有岡隆子・石野 巖・大谷とし子・相良哲美・杉田敏江・西脇岑子・東中 渡・藤原 勲・松村如洋・松村せつ子・松本義實・三宅一雄・山田正子

◆ 万葉書き方教室 講師 中西温子

春されば しだれ柳のとををにも妹は心に乗りけるかも 柿本人麻呂
私はこの歌が大好きです。春になるとしだれ柳の芽が芽ぶきます。「とををにも」は果実が
たっぷり実る様子を思い浮かべてください。

いとしい人を思うと、まるでおいしい桃を手のひらに乗せている様に、優しい重みを感じ
られるといった意味でしょうか。今は人を愛することで、重たいと嫌がられる事もあります
が、この様にふんわりとした気持ちならいいですね。

平成が戦争のない時代であったことを喜び、令和にも万葉の風がふきますように。

開催日 第三土曜日 13時半～15時

場 所 北部会館

- * 出展者：石山悦子・魚野久江・岡田知枝・熊本悦子・中嶋幸子・中西恵子・中西温子
中野美恵子・中野洋子・西村絢子・馬場恭子・柳本恵子・吉田克治

◆ 絵画・絵手紙の会 リーダー 日比野 豊

昨年の4月より絵手紙コースに変更して再スタートしました。現在会員は8名ほどです
が月2回各自が好きなモチーフを持ち寄り、面白く・おかしくなるように工夫しながら絵手
紙に仕上げています。モチーフは、野菜・くだもの・花・野草・置物・アクセサリー等々何
でも題材になりますので、「へたでいい、へたがいい」をモットーに描いています。

ご興味のある方は是非見学に来てください。毎月二回、火曜日の午前中に北部会館
でやっています。

展示は今年も絵手紙中心で、各人、今まで描いた作品から12枚を選定して展示しまし
た。

- * 出展者：日比野 豊・中野美恵子・西村絢子・江澤圭子・藤田二三子・熊本悦子・
島川恵美子・神谷文子

◆ ITを楽しむ会 リーダー 明政文男

『ITを楽しむ会』は、スマホの取り扱いやアプリの操作、またパソコンおよび電子機器
一般に関して習ったり、お互いの情報を交換したりする勉強会です。

この会も皆様のご協力で、今年4月で2年目に入りました。現在会員は17名（女性8
名、男性9名）です。

スマホとパソコンのクラスがあり、全くの初心者の方にも分かりやすく説明する時間もあ
りますので是非ご参加下さい。

なお、パソコンクラスは、ご自身のパソコンを持参して頂きます。文化祭の会場ではこ
れから勉強する内容を展示したり、ご説明する予定です。

これまでの活動は下記のホームページをご覧ください。

<https://www.7crystalsky-heijyoit.com/>

◆ デジタルフォト講座 講師 赤坐右一

今年から、フォトショップエレメンツなどの写真編集ソフトを使って赤坐先生の指導のもと
で、初歩の方にもわかりやすい「レタッチ技100」という本を中心に、複数の画像やオブ

ジェクトを合成させるなど、より詳細な編集を行っております。

写真の編集・加工をいろいろな操作方法で自分だけのオリジナルな「加工しているように見えない素晴らしい出来栄えの写真に変身!」に上げることができます。今回は絶景のいろいろな場所に出来た虹の写真、各自の想像力を発揮して6人6様の作品を展示しています。他にも個人の写真2点ずつあります。是非会場できとご覧になり、加工を見破ってください。

* 出展者:赤坐右一・藤原 勲・高橋かおり・大浦貞子・柳本恵子・柳本博文

◆ トールペイントばらの会 講師 西本直江

毎年自由作品以外に同じ素材で描いた作品を出展しています。

今年はカッティングボードに描きました。花の絵以外にも、可愛い熊さんや小鳥等、それぞれの個性が出た楽しい作品になりました。

* 出展者:西本直江・有岡隆子・奥谷敏子
久保紀子・棚田博代・中野美恵子
近泉良子・西本万優美・原田迪子・
松村せつ子・松本享子・若原和子



◆ 折り紙を楽しむ会 リーダー 熊本悦子

身近な材料で、時・場所を問わず楽しめる折り紙は、日本の誇る伝統文化です。平面の折図を見ながら、花や動物など立体的な作品を折り上げる作業は、楽しくもあり頭の体操にもなり飽きる事はありません。

今年の展示は、一年間に限定せずこれまで作った作品の中で、自分の好きな作品を出展して頂くことに致しました。どんな作品が展示されるか楽しみです。

* 出展者:浅井明子・新司輝江・石野由紀子・魚野久江・加藤僖三恵
木下ミエ子・熊本悦子・阪本美恵子・塩田香代子
篠原ひろみ・関山志ず江・谷口三枝子・寺谷征子・徳田弥栄子・永瀬善子
中西美代子・中野美恵子・永松笑子・中村勝子・永吉佐香恵・西川治美
西村絢子・古畑美佐子・山形幸枝・吉江園子・吉田敬子



◆ 押し花とプリザーブドフラワーを楽しむ会 講師 高橋かおり

押し花は細かくデザインされた額や、ポップで可愛い押し花を使った小物。プリザーブドフラワーはまるで生花のようなお花を使ったアレンジが並びます。

今年も素敵な作品を是非ご覧下さい。興味のある方は下記活動日に見に来てください。

活動日：月1回 第4水曜日 10時～15時30分まで

場 所：右京ふれあい会館

- * 出展者：伊藤京子・奥谷敏子・木村絢子・杉山安枝・鈴木佐知子・野原雅子・吉田敏子・若原和子・岩城友子・中岡美幸・森山満里子・高橋かおり

◆ パッチワーク研究会 リーダー 打田照子

自分の持ちたいバッグや部屋を飾るタペストリー、そしてかわいい孫達へのプレゼント用バッグ等々は、ハワイアンキルト、オーソドックスなパッチワークキルト、モラ手芸の手法をほどこし、その上ビーズやレースを飾り、それぞれバラエティ豊かな楽しい作品に仕上がっています。

- * 出展者：打田照子・住吉紀子・
阪本千賀子・榊原厚子・
滝川ひろ代・生田牧子・
植倉裕子・谷口三枝子・
岡山春美・白澤寿美・
成田美智子・八田まき



◆ わくわくニット 榊原厚子

この度、装いを新たに『わくわくニット』をフレッシュスタートいたしました。これまで10年間続いた「手編み同好会」の一時休会を考慮しておりますが、メンバーの熱い希望で一刻も早く会を再開することとなりました。皆さんは意欲満々で、月一度の会を待ち速く思っておられるようです。毎回それぞれお互いの作品に刺激を受け、アイデアや技法も気軽に教え合いながら和気あいあいと愉しく過ごしております。また多くの先輩たちのノウハウをいただきながら、会の向上にも努力しております。

今回の展示も情熱のこもった素敵な作品が数多く編み出されました。是非会場に足を運ばれ、ゆっくりとご覧いただければ幸いです。

- * 出展者：堀口千秋・大西洋子・笥ゆり子・島川恵美子・
神農永子・杉谷幸代・松岡好子・村岡敏子・
鷲尾牧子・渡辺直子・榊原厚子



◆ 料理を楽しむ会 講師 松村せつ子

今年も喫茶コーナーで美味しいコーヒーを味わって下さい。友人、知人と誘い合わせて一緒におしゃべりを楽しんでいただければと、会員一同お待ちしております。

初日、二日目は10時～16時まで、最終日は10時から15時までです。



パネル展示によるグループ活動の紹介

◆ 飛鳥学 講師 木下正史

飛鳥・藤原地域は、日本文化や日本国そのものの発祥の地といえます。

飛鳥学講座はまさにその地にある社寺や古跡を取り上げ、歴史や文化を丁寧に学んでいます。講師は木下正史先生。長い間自ら発掘・研究に携わって来られ、東京学芸大学で後進の指導にもあたられ、今なお明日香村文化財顧問、「飛鳥・藤原」世界遺産登録専門委員会委員長、「飛鳥を愛する会」会長等を務められています。

講座は毎月の第1水曜日午前10時から11時30分まで、北部会館3階多目的室1で開催しています。会員数は40名を越えています。

難しい勉強会と思われる方もおられるでしょうが、冒頭にお話致しましたように、我々の地元のお話です。敷居は高くありませんよ。

テーマは飛鳥・藤原地域の、主には古寺・廃寺を一つずつ、遺物や遺跡の写真と共に、時代背景、技術や様式の伝来状況など、全方位からの講義になります。今は本薬師寺（藤原京薬師寺）に入りました。とはいえ「楽しみ」なのは、新聞やテレビで報じられる最新の発掘・発見のニュースに関しての解説やこぼれ話を聞かせて頂くことです。この講座ならではの、他所では味わう事の出来ない楽しみと思っています。

今年の文化祭には昨年同様、パネル2枚の展示をさせていただきます。1枚目は講義風景です。この一年は主に明日香村の川原寺（遺跡）を学んできました。

2枚目は、年に一度のお楽しみの「ミステリーツアー」での現地講座の様子です。昨年は新しく整備がされた平城宮跡の一带を歩き、現地で解説をして頂きました。

木下先生のウイットに富んだ話術の妙に引き込まれ、あっという間に講義は終わってしまいます。ご興味のある方はお気軽に、教室を覗いて下さい。お待ちしております。

◆ 源氏物語を読む会 講師 浅田知里

今年、源氏物語を読む会では、伊勢「齋宮」への旅を企画した。

その昔、齋宮には、天皇の代わりに伊勢神宮に奉仕する未婚の皇女が、都を遠く離れて暮らしていた。源氏物語にも、光源氏の父桐壺帝が位を退き、兄が新天皇の位に就いたのに伴って、新しく齋王に選ばれた姫君が登場する。源氏の愛人六条御息所の娘である。

物語の舞台になった地を訪れ、広大な地に復元された齋宮の建物群や博物館に展示された歴史資料に触れると、齋王たちの雅な暮らしがしのばれる。

平成から令和への天皇の代替わりを意識したわけではないが、タイムリーな企画だったのではとほくそ笑んでいる。これまでも、源氏物語千年紀に宇治や大津を訪れたり、「なにがし寺をたずねて」と題して、若紫の巻の舞台北山を訪ねたりしたが、ゆかりの地を歩いてみると、千年も昔の物語の世界が少し身近に感じられる。

◆ ゆっくり歩こう会 講師 小嶋敬二郎

「ゆっくり歩こう会」も平成22年5月から歩き始めて10年目になります。

9月現在62回完歩しました。

四季それぞれの行き先の季節感、歴史・風土を愛でて味わい、皆様楽しくおしゃべりしながら、気が付けば最後まで元気に歩いています。平均10km前後です。講師の小嶋先生には毎回コースを考えて頂いています。

基本は1月4、5、6月9、10、11月の年7回です。雨天の時は順延です。皆様の意見を取り入れながら、まだ歩いていない地域にも目を向けています。

文化協会のニュースを見てから自分の体に合ったコースを選んでいただき、参加するかどうか決められる特典があります。文化祭では過去に開催したコース・写真を掲示していますのでご覧ください。

再度参加したいコースの行程表に興味のある方は、柳本博文まで声をかけてください。

* 参加者：1回の平均は約15名です。



◆ 英語講座 講師 橋本友子

初級クラスで使っている中学英語の教科書に、日本人の名前のローマ字表記が、姓・名の順に変更されたのが2002年の由、新しく教科となる小学5・6年生の見本もすべて姓・名の順になっている。しかし首相官邸のホームページでは、名・姓の順のままという事実が示しているように、高校や大学でも社会でも、変更は定着していない。

一事が万事で、日本の英語教育の混乱を心配するのが毎回のことになっている。

気分を換えて、子どもの遊び歌2曲を含む5曲を2回歌って一息つき、後半は、ノックノックジョーク（だじゃれ）、リスニング用のジョーク一口話、読物として英訳された落語と大笑い小笑いしながら、言葉の面白さ、深さを味わうというのが今年のコース。

◆ 中国語同好会 講師 宿俊明・北崎光一

毎週木曜日、右京ふれあい会館で、午前9時15分から12時まで、中国語を学んでいる同好会です。前半の入門クラスはNHKラジオ講座おもてなしの中国語、中国語の四

声発音、後半の上級クラスは漢詩を中心に学んでいます。

勉学だけではなく、カラオケ、飲みにケーションと幅広い年齢層で、和気藹々とした雰囲気楽しんでます。是非一度、同好会を見学にお越し下さい。

◆ 歌声サロン 講師 小島 順

懐かしいメロディーと歌詞、それは幼少の頃から青春へと、それぞれが綴った時代の思い出を甘酸っぱく生き生きと蘇らせてくれます。

さらに、今頃熟年になり同じ歌を聴くにつけ、その歌への想いがまた変わりつつあることに気づきます。

自身の今までの人生の軌跡から……音楽とは「音を楽しむ」と書きますが、私たちの「歌声サロン」には、音楽を楽しみ、音楽に自身の人生を重ねながら、青春を蘇らせて、いつも若返りをさせている皆様がいらっしゃいます。



◆ 詩吟の会 講師 西尾弘子

今年の夏頃から西尾先生の体調が優れないため、皆で話し合っ吟題を決め、練習してきました。今回の発表はお聞き苦しい点が多々あるかと思いますが、どうぞお聴き下さい。なお、詩吟の会は、第三水曜日の午前に平城西公民館で練習しております。

◆ 朗読を楽しむ会 講師 辻本典子

この会は、今年5月より始まりました。毎月第4金曜日の午前十時半より十二時迄の一時間三十分、会員の皆様と共に軽く身体をほぐし、発声練習の後、朗読を致します。

今年の文化祭で、朗読を発表する事は出来ませんが、来年の文化祭では朗読出来ます様に、月一回の練習を積み重ねて行きたいと思っております。どうぞ、楽しみにお待ちしております。

《 上演 1日目 》

11月3日(祝) 会場 奈良市北部会館3階 市民文化ホール
13時15分 開演 司会 岡 典子
17時00分 終了

◆ 吹奏楽 奈良みささぎウインドアンサンブル 代表 宮西和弘

- 曲目 1. 優しいあの子 2. 川の流れるように 3. 渡月橋～君想う～
4. 情熱大陸 5. 日本の四季～秋～

- * 出演者：1. フルート&ピッコロ 増田 友里
2. フルート 乾 裕美子
3. クラリネット 宮西 和弘
4. クラリネット 吉田 朋美
5. バスクラリネット 森嶋 悠
6. ホルン 宮西 くるみ
7. トランペット 齋藤 功
8. トランペット 村田 進一
9. ユーフォニアム 木山 竜志
10. ベース 菅原 勇
11. ドラムス 伊藤 圭之

◆ 詩吟 詩吟の会 講師 西尾弘子

- | 吟題 | 作者 | 吟者 |
|-----------------|-------|----------------------------|
| 1. 出郷作(独吟) | 佐野竹之介 | 多鹿治良 |
| 2. 立ち変り(和歌独吟) | 田辺福麻呂 | 岩井静栄 |
| 3. 王倫に贈る(合吟) | 李白 | 木村麻子・中村憲子 |
| 4. 松竹梅(歌入り合吟) | 松口月城 | (吟) 西脇岑子
(歌) 桜井笑子・篠原ひろみ |
| 5. 太田道灌(和歌入り連吟) | 不詳 | 松尾淳子・是永ユキ子 |
| 6. 大楠公(合吟) | 河野天籟 | 富江八重・川崎泰子 |
| 7. 九月十三夜(独吟) | 上杉謙信 | 杉田英二 |
| 8. 名槍日本号(歌入り合吟) | 松口月城 | 出演者全員 |

- * 出演者：岩井静栄・川崎泰子・木村麻子・是永ユキ子・桜井笑子・篠原ひろみ・杉田英二・多鹿治良・富江八重・中村憲子・西脇岑子・松尾淳子

◆ 英語で歌おう 英語講座 講師 橋本友子

- 曲目 1. The Farmer in the Dell 2. The Hokey-Pokey
3. Chim Chim Cheree 4. Yesterday Once More
5. Puff

- * 出演者：荒川成子・生田牧子・井口実津子・井上裕子・大浦貞子・北島 忠・熊田てる子・小嶋良子・佐川道夫・杉山幸平・高岡文子・津坂恒子・樋泉慶二・中川洋子・中西章人・鍋嶋美春・西尾弘子・西村晴代・藤原 勲・村田民子

◆ 中国語で歌おう 中国語同好会 講師 宿 俊明・北崎光一 ピアノ 藤井真美子

- 曲目 1. 雨夜花 (ウヤホエ) 2. 母さんの歌 (マーマージョー)
3. 蘇州夜曲 (スージョウヤチー)
4. あたま・かた・ひざ・ボン (トウア・ジェンバン・シー・ジアオジー)

- * 出演者：宿 俊明・荒川信彦・荒川成子・長岡美加・村岡ちい子・熊田てる子・
山本みどり・池田八重美・谷口三枝子・福山久美子・山中真由美・
大久保里美・梅原健一・中嶋義治・徳田 正・松下育夫・西村利左右
神澤 章・辻 紀久雄

◆ レインボーゴスペルクワイア 代表 灰谷智子

- 曲目 1. My God Can Do Anything 2. God Is Great
3. ふるさと 4. He Reings Forever

- * 出演者：ソプラノ：加藤郁枝・乗本奈穂美・松尾和美・灰谷智子
アルト：古東真智子・田中智加子・平林薫
テナー：平本小百合・堤良子・北原奈美

◆ コーラス 歌声サロン 指導・ピアノ 小島 順

- 曲目 1. 童謡メドレー (紅葉・里の秋・村祭り) 2. 手のひらを太陽に
3. アニメメドレー (宇宙戦艦ヤマト・鉄腕アトム) 4. 鉄道唱歌 (奈良巡り)
5. もしも明日が 6. あざみの歌
7. 惜別の歌 8. 詐欺の歌 (東京だよおっかさんの替歌)
9. 津軽のふるさと 10. 野に咲く花のように

- * 出演者：青山 孝・赤堀律子・荒川成子・荒川信彦・大場康行・川崎泰子・
川端和加子・北島 忠・佐藤和子・島川恵美子・玉置小夜・富江八重・
中西美代子・西川治美・西嶋健一・馬場恭子・松尾淳子・松村せつ子
村岡敏子・吉江園子・吉田克治・鷲尾牧子・澤井多年夫

《 上演 2日目 》

11月4日(振休) 13時15分 開演 司会 岡 典子
16時00分 終了

◆ ハーモニカ ならやまハーモニカクラブ 代表 桑山章造

- 曲目 1. バラのタンゴ 2. 波路はるかに
3. 風雪ながれ旅 4. ああ上野駅
5. 北上夜曲 6. 長崎の鐘
7. アイネクライネナハトムジーク 8. マイウエイ

指揮 矢澤道雄

複音ハーモニカ 1st 赤井政次・工藤節子・黒木春雄・佐藤悦子・
菅原通孝・田中照枝・森岡富子

複音ハーモニカ 2nd 大谷和代・小新井宏行・小中佐代子・藤田房子
バスハーモニカ 西村通弘・本多アサエ
コードハーモニカ 村田利彦・桑山章造

◆ 沖縄民謡 なんくる三線倶楽部 代表 又吉奈緒子

- 曲目 1. 新安里屋ゆんた 2. 十九の春
3. でんさ一節 4. 目出度節
5. 永良部百合の花

* 出演者：清水真木子・熊田典子・田中チカ子・加藤真樹・山崎加代子・榎峠勝恵・
又吉奈緒子・日根千明・藤原ミチル・中川尚子



◆ 器楽演奏 朱雀地区社会福祉協議会楽器サロン 代表 作間 泉

- 曲目 1. さんば
2. believe
3. 花は咲く
4. ホール・ニュー・ワールド



◆ 高の原文化講座 フラダンス レイレフアフラスタジオ 代表者 田附正子

- 曲目 1. ホーヘ/アオピイラニ
2. クウ プア メレメレ
3. カハラオプナ
4. クウイポ イ カヘエ ペェオネ
5. ヘナニ モキハナ



◆ 演舞 奈良市役所チーム八重櫻 代表 奥田将太

曲目 1.「天平のいぶき」

「奈良から世界へ、新しい時代へ」という今年のテーマを表現するべく、前半には奈良らしい和の雰囲気を出し、後半は未来へと繋がるような曲調にしました。随所に奈良らしさ、八重櫻らしさを感じていただけたらと思います。

2.「まいどハッピー」

皆さんご存知、ウルフルズさんの名曲です。元気いっぱい楽しく踊りますので皆さんも一緒に、「ハッピー!」と声を出してください!

3.「うらじゃ」

みんなで踊れる簡単な総踊りとなっています。メンバーが簡単な振りを教えながら踊りますので、皆さんも一緒に、踊って下さい!

* 出演者: チーム一同



総会次第

- I 開会挨拶
- II 会長挨拶
- III 来賓祝辞
- IV 議長選出
- V 議事
 - 1) 2019年度事業報告
 - 2) 2019年度決算・監査報告
 - 3) 2020年度役員改選について
 - 4) 2020年度事業計画（案）
 - 5) 2020年度予算（案）
 - 6) その他
- VI 閉会挨拶

新型コロナウイルスの為、中止になりました。
議案書にそって活動してまいります。

2019（平成31年）年度 事業報告

- 平成31年4月18日(木) NEWS No1 印刷・発行（5・6月の予定）
役員会①（総会の準備・確認）
- 令和元年5月19日(日) 2019年度（第37回）総会
講演会 奈良大学副学長 文学部文化財学科教授
関根俊一先生 『十一面観音像の由来』
- 5月25日(土) 第1回「層富」編集会議
- 5月26日(日) 朱雀地区夏まつり 第1回実行委員会
- 6月8日(土) 第2回「層富」編集会議
- 6月20日(木) NEWS No2 印刷・発行（7・8月の予定）
役員会②（文化祭開催要領・「層富」発行について）
- 6月23日(日) 朱雀地区夏まつり 第2回実行委員会
- 7月21日(日) 第1回理事会 「層富」No36 発行
- 8月3日(土) 朱雀地区夏まつり（環境担当）
- 8月22日(木) NEWS No3 印刷・発行（9・10月の予定）
役員会③（第1回理事会の確認と文化祭準備の検討）
- 9月7日(土) 第1回文化祭実行委員会
- 10月5日(土) 第2回文化祭実行委員会
- 10月10日(木) NEWS No4 印刷・発行（11・12月の予定）
役員会④ 文化祭開催準備確認
- 10月19日(土) 平城西公民館まつり参加
- 10月20日(日) 平城西公民館まつり参加
- 11月2日(土) 第37回文化祭開催
開会式と記念講演（午後1時～）
記念講演 奈良大学地理学科教授 土平 博先生
『伊能忠敬の大和路測量 - 地図と日記から軌跡をたどる -』
- 11月3日(日) 作品展示と上演
- 11月4日(月) 作品展示と上演
- 11月16日(土) 朱雀地区音楽祭参加
- 12月7日(土) 第2回理事会 文化祭反省会
- 12月19日(木) NEWS No5 印刷・発行（1・2月の予定）
役員会⑤（反省会の確認と次回理事会について）
- 令和2年2月9日(日) 神功音楽祭参加
- 3月20日(木) NEWS No6 印刷・発行（3・4月の予定）
役員会⑥ 次回理事会役員改選について
- 3月22日(日) 第3回理事会（新旧理事出席）

2019年度 決算報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

収入の部

単位・円

項 目	予 算	実 績	増 減	備 考
前年度繰越金	42,577	42,577	0	
会費	405,000	394,500	△ 10,500	273名
後援費	50,000	50,000	0	各自治連合会と
寄付金	1,000	-	△ 1,000	右京4・5丁目
雑収入	1,423	1	△ 1,422	銀行利息他
			0	
合 計	500,000	487,078	△ 12,922	

支出の部

項 目	予 算	実 績	増 減	備 考
事業費	170,000			
内訳 文化祭共催費	55,000	49,320	△ 5,680	文化ホール使用料
記念講演	30,000	30,000	0	講師謝礼
司会者・スタッフお礼	25,000	9,000	△ 16,000	
接待用茶菓子・他	30,000	20,422	△ 9,578	
5月講演会代	30,000	30,000	0	講師謝礼
小計	170,000	138,742	△ 31,258	
会議費	17,500			
内訳 会場費	15,000	12,720	△ 2,280	
資料代・他	2,500	1,194	△ 1,306	用紙、封筒
小計	17,500	13,914	△ 3,586	
広報費・事務費	280,000			
内訳 層富会誌	255,000	226,800	△ 28,200	648円×350冊
インク代・コピー用紙他	20,000	21,559	1,559	ニュース印刷用・他
事務用品	5,000	9,136	4,136	
小計	280,000	257,495	△ 22,505	
通信費	5,000	3,144	△ 1,856	郵送料
渉外費	2,000	-	△ 2,000	
雑費	1,000	-	△ 1,000	
予備費	24,500	-	△ 24,500	
次期繰越金	0	73,783	73,783	
合 計	500,000	413,295	△ 86,705	
総 計		487,078	12,922	

積立金合計 90,190

定期預金 200,000

会計監査報告

2019年度の会計帳簿、証票類他、関係書類等を精査した結果適正であることを認めます。

2020年3月31日 監事 川崎泰子 真中礼子

令和2年年度 組織(案)

理事

(敬称は略・アイウエオ順)

明政文男	荒川成子	荒川信彦	石川恒久	石野由紀子	打田照子
大槻順子	岡典子	大西洋子	神澤章	川崎泰子	熊本悦子
小島順子	榊原和文	相良哲美	鈴木佐知子	谷口三枝子	中嶋一樹
中西章人	中西恵子	日比野豊	松村せつ子	真中礼子	柳本博文

組織分担

会長	日比野豊				
副会長	相良哲美		荒川信彦		
事務局長	岡典子		次長 熊本悦子		
会計	石野由紀子				
監事	打田照子		谷口三枝子		
組織部	事務局兼務				
広報部	部長 明政文男				
行事部	部長 相良哲美		副部長 荒川信彦		

部員及び配布委員

広報部	明政文男	打田照子	岡典子	熊本悦子	杉田敏江
(層富編集)	谷口三枝子	日比野豊			
行事部	荒川成子	神澤章	榊原和文	鈴木佐知子	打田照子
	中嶋一樹	中西章人	松村せつ子	柳本博文	
	(その他理事 全員協力)				
配布部	石野由紀子	大槻順子	大西洋子	川崎泰子	中西恵子
	真中礼子				

配布委員

<u>神功地区</u>	(谷口三枝子)				
	ガーデンハウス	藤澤陽子	3丁目	谷口三枝子	
	1丁目	橋本友子	4丁目	柳本恵子	
	2丁目	永瀬善子	5丁目	西脇岑子	
<u>右京地区</u>	(熊本悦子)				
	第2団地	北崎光一	辻本典子		
	右京団地	中嶋幸子			
	3丁目	山本喜代美	熊本悦子	村岡敏子	森礼子
	4丁目	熊本悦子			
	5丁目	真中礼子			
<u>朱雀地区</u>	(吉田克治)				
	1丁目	赤堀律子	富田三千子		
	2丁目	打田照子			
	3丁目	大槻順子			
	4丁目	赤井博			
	5丁目	鷲尾牧子	岡典子		
	6丁目	大久保里美			
	第1住宅	福澤満子	西村好子		
<u>左京地区</u>	(相良哲美)				
	1丁目	高岡文子	杉田敏子		
	2丁目	熊田照子			
	3丁目	中野美恵子			
<u>木津川市</u>	(川崎泰子)				
	相楽台	富江八重			
	兜台	川崎泰子			

2020（令和2）年度 事業計画（案）

はじめに

平城ニュータウン文化協会は、講座・同好会、文化祭及び講演会の開催、会誌「層富」および文化協会ニュースの発行などを主たる事業として活動しています。講師・リーダーの先生方にはボランティアでご指導頂いており、会員は自由にいくつもの講座・同好会を受講できるのも大きな特徴です。

一昨年から講座の廃講と新しい講座の開講が続き、現在20の講座・同好会が開設されており、今後も講師・リーダー、各会員はじめグループ代表の方々、各自治連合会、北部会館など多くの方々にご支援いただき、会員及び地域の皆様と共に、様々な文化活動を楽しみたいと思います。そして「地域文化の発展に寄与」できるよう努めてまいります。

事業計画

1. 趣味、学術、芸術などの文化講座の開催

優秀な講師やリーダーのご指導により、ユニークな20の講座・同好会を開催します。

2. 「第38回平城ニュータウン文化祭」の開催

開催日：令和2年11月1日(日)・11月2日(月)・11月3日(火・祝)

会場：奈良市北部会館3階市民文化ホール

共催：奈良市北部会館市民文化ホール

内容：各講座・同好会の作品展示と舞台発表

3. 「第38回平城ニュータウン文化祭記念講演会」及びセミナー（年1回）の開催

会員と地域の皆さんが特に関心を寄せておられる問題をテーマに講演会を開きます。

4. 「平城ニュータウン文化協会NEWS」の発行（隔月）

講座・同好会の開催日時、内容、活動状況をご案内します。

各自治会のご協力を得て、全自治会の皆様年に2回（4月、10月）NEWSを回覧します。

5. 会誌「層富」No.37の発行

講座・同好会の活動、研究結果の発表および各種情報などを掲載します。

6. 平城ニュータウン各自治会、自治連合会など地域団体との連携、協力

各自治連合会など地域団体の活動や催しに積極的に参加協力し、地域文化の発展に寄与します。

7. 会員の増強と財政の安定化

平城ニュータウンの方々に講座・同好会など文化活動への参加を呼びかけ、組織の強化をはかり、文化協会の活力を高めます。

2020年度 予算案

令和2年4月1日～3年3月31日

収入の部

単位・円

項目	金額	内 訳	備 考
前年度繰越金	73,783		
会費	405,000		1500円×270人
後援費	50,000		各自治連合会と
寄付金			右京4・5丁目
雑収入	1,217		銀行利息・他
合計	530,000		

支出の部

項目	金額	内 訳	備 考
事業費	170,000		文化祭・セミナー
内訳 文化祭共催費		55,000	文化ホール使用料
記念講演講師お礼		30,000	
司会者・スタッフお礼		25,000	
花代・茶菓子代・他		30,000	
5月講演会		30,000	講師お礼
会議費	25,000		資料代・他
内訳 会場費		20,000	
資料代		5,000	
広報費・事務費	290,000		会誌・会報・ニュース
内訳 層富会誌・他		250,000	
インク代・コピー用紙・他		30,000	
事務用品		10,000	
通信費	7,000		郵送料
渉外費	2,000		
雑費	1,000		
予備費	35,000		
合計	530,000	-	

積立金合計 90,190

定期預金 200,000

前年度繰越金 73,783

内訳 南都銀行 56,483

ゆうちょ銀行 17,300

2020年度 講座・同好会一覧

2020.4.01現在

	定期 講座・同好会	講師・リーダー	世話人連絡先	曜日	時間	予定会場
1	古文書を読む会	石川 恒久	大槻 順子 0742-72-3232	第2・4土曜	10:00～12:00	右京ふれあい会館
2	飛鳥学講座	木下 正史	中嶋 一樹 090-8989-1125	第1水曜	10:00～12:00	北部会館3階多目的室1
3	源氏物語を読む会	浅田 知里	榊原和文 090-7705-6110	第1・3土曜	10:00～11:30	北福祉センター2階
4	英語講座	橋本 友子	中西 章人 0742-71-8475	毎月曜	初級 9:30～10:35 中級10:15～11:30	右京ふれあい会館
5	中国語同好会	宿 俊明 北崎光一	神澤 章 0742-34-4957	毎木曜	入門 9:15～10:30 応用10:45～12:00	右京ふれあい会館
6	俳句を楽しむ会	小谷 廣子	相良 哲美 0742-31-3976	第4水曜	13:30～15:30	北福祉センター2階
7	短歌を楽しむ会	襟原 聡	岡 典子 0742-71-5801	第2火曜	13:30～16:00	北部会館3階会議室3
8	わくわくニット	松岡好子	大西洋子 0742-72-0661	第1木曜	13:00～16:00	北福祉センター2階
9	絵画・絵手紙の会	日比野 豊	日比野 豊 0742-71-9786	第1・3火曜	9:00～12:00	北福祉センター2階
10	料理を楽しむ会	松村 せつ子	松村せつ子 0742-71-9605	第3木曜	9:30～12:00	平城西公民館
11	詩吟の会	西尾 弘子	川崎 泰子 0774-72-9399	第1・3水曜	13:00～15:00	平城西公民館
12	歌声サロン	小島 順	荒川 成子 0774-66-1718	第2金曜	10:00～11:45	北部会館3階多目的室1
13	パッチワーク研究会	打田 照子	打田 照子 0742-71-2879	第2・4金曜	13:00～16:00	北福祉センター2階
14	押し花とプリザーブドフラワーを楽しむ会	高橋 かおり	鈴木 佐知子 0742-71-1690	第4水曜	10:00～15:30	右京ふれあい会館
15	折り紙を楽しむ会	熊本 悦子	熊本 悦子 0742-71-1763	第2火曜	10:00～15:00	北福祉センター2階
16	トールペイント ぼらの会	西本 直江	松村 せつ子 0742-71-9605	第2水曜	13:00～16:00	平城西公民館
17	ゆつくり歩こう会	小嶋 敬二郎	柳本 博文 0742-71-0813	実施 1.4.5.6.9.10.11月	概ね第1日曜	その都度決定
18	萬葉書き方教室	中西温子	中西恵子 080-1490-0722	第3土曜	13:30～15:00	北福祉センター2階
19	ITを楽しむ会	明政 文男	明政 文男 080-3856-2108	第1・3火曜	13:00～16:00	右京ふれあい会館
20	朗読を楽しむ会	辻本 典子	真中 礼子 0742-71-7339	第4金曜	10:30～12:00	北部会館3階会議室

平城ニュータウン文化協会 令和元年度 第2回理事会議事録

開催日 令和元年12月7日(土) 午後1時30分～2時30分

場所 北部会館3階 会議室3

出席者 (22名) 北部会館市民文化ホール 小西氏

(会長) 日比野 (副会長) 相良 荒川信 (敬称は略・50音順)

理事: 明政 荒川成 打田 岡 大槻 川崎 熊本 榊原 鈴木 谷口 玉置 (岡氏代理)

辻 中西 西村絢 西村好 真中 柳本 渡辺 (中嶋氏代理)

欠席者 (4名) 赤座 石川 小島 高橋 松村

議題

1. 令和元年度 第37回平城ニュータウン文化祭の反省

行事部 相良部長から第37回平城ニュータウン文化祭の振り返り(別紙資料)の補足説明及び意見

① 入場者数

入場者数は652人、実数は約600人程度。昨年実績670人より微減(朱雀が減少)心配された開会式には仲川市長も来賓として出席、開演時間を30分遅らせた結果か入場者数も多く好スタート。

② 記念講演会

土平 博先生の記念講演「伊能忠敬の大和路測量一地図と日記から軌跡をたどる」は、多くの入場者で盛況であった。

講演資料を150部準備頂いたにも拘らず足らなかった。

自分の分だけでなく友人の分も持ち帰ったのではないかと早くから来場していたにも拘らず、資料を貰えなかった方で立腹して帰られた方がいた。

次年度は資料の配布をどうすればよいか検討。

全体に客席がガラガラということはあまりなかったが、中盤は中だるみでやはり入場者が少なかった。

③ ポスター作成に関して、日比野会長が毎年森氏からラミネーターを借用。

高額なものでもなく、毎年使用するものなので文化協会の備品として購入したとのこと。

行事部 荒川副部長の意見

① 上演のスタートを30分遅らせ、上演時間を5分短く25分に。心配された段取りもうまくいった。

- ② ゴスペルの出演者が、出演後観客になってくれてよかった。

北部会館 小西氏の連絡事項

- ① 展示パネル3本が故障して使えなくなっている。

他のホールから足の台を借りて確保しているが、日程が重なった時は確保できない。

- ② 来年の文化祭の日程について、11月1日(日)・2日(月)・3日(祭日)

北部会館文化ホールと相談の上決める。

出席者の意見

舞台運営に関して

- ・午前のリハーサルは良かった。
- ・サークルによって、かかわり合い方に温度差あり。
割り当てて観客を動員してはどうか。

展示に関して

- ・展示場所がわかりにくい。展示室の前に展示グループ名の表示をしてはどうか
- ・デジタルフォトの展示場所に、パネル展示or 絵画・絵手紙の展示をしてはどうか

その他

- ・ニュース 講座リストを受付に置く。
- ・講座リストを大きくラミネートで立てる。
- ・1階の入り口が暗い。文化祭の期間中だけでも点けてもらうよう要望する。
- ・会場の生け花 カラフルでよかった。

事務局からの報告

- ・車の駐車券について
利用しないグループの分を必要な所に配布。

2. 会計報告

会計報告では、会員数260名ほどで、昨年実績と同程度。

予算の範囲で納まりそうである、

3. その他

3月22日1時半から 第3回理事会を開く

各講座、新旧理事が出席。

第1章 総則

第1条 この協会は平城ニュータウン文化協会という。

第2条 本協会は、本部（理事会および役員会）とそれに所属して自立的に活動する多数の講座・同好会（以下講座）から構成される。

第3条 本部は会長宅に、本部事務局は事務局長宅におく。

第2章 目的及び事業

第4条 会員の研究・創作発表・知識の交換並びに会員相互間及び他の文化団体との連携、提携の場となり、相互文化に関する進歩普及を図り、地域文化の発展に寄与することを目的とする。

第5条 前条の目的を達成するために、本部は各講座と連帯して次の事業を行う。

- 1 講演会・研修会・展覧会・発表会・文化講座等の開催。
- 2 ニュース及び会誌の発行。
- 3 自治体および自治会等関連団体との連携及び協力。
- 4 その他。

第3章 会員及び会費

第6条 本協会の目的に賛同し、入会を希望する者は会員となることができる。

第7条 1 会費は年1,500円とし、希望する複数の講座に入会することが出来る。

但し、当会費は本部が行う事業に充当され、各講座の活動に伴う経費は、講座毎に別途費用負担を要する。

- 2 会費は毎年4月に、所属するいずれかの講座に納入する。ただし、指定する銀行への口座振込とすることも出来る。
- 3 年度途中の入会者の年会費は、4～6月は1,500円、7～9月は1,000円、10～12月は500円、翌年1～3月は無料とする。ただし、年度途中退会者の年会費の精算は行わない。

第4章 役員及び理事

第8条 1 協会には次の役員を置き、本部の役員会を組織し、総会及び理事会の決定事項に基づき、協会運営全般を執行する。

会長 1名、副会長 2名、事務局（局長1名、局長代理1名、次長1名、会計1名及び部長・副部长若干名）監事 2名。

- 2 役員は改選期前の理事会において理事の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 3 事務局の組織として組織部、広報部、行事部、配布部等の職位を設ける。
- 4 各職位の基本的所掌は次のとおり。

- (1) 会長は協会を代表し、副会長はこれを補佐する。
- (2) 監事は会計監査を行い、総会に報告する。
- (3) 事務局長は協会運営を統括し、局長代理並びに次長はこれを補佐する。
- (4) 会計は収支管理、出納を行う。
- (5) 組織部は組織及び会員入退会の管理を行う。

- (6) 広報部はニュース・会誌等の発行を行う。
- (7) 配布部は委嘱した配布委員の協力を得て、ニュース・会誌等の配布を行う。
- (8) 行事部は文化祭、講演会等を開催する。

第9条 1 理事会は各講座毎に選出された講座を代表する理事と、講座を代表する理事とは別に改選期前の理事会において次期理事として推薦された理事とで構成する。

- 2 理事会は役員会に委任する協会運営の基本事項の決定並びに総会に付議する議案の審議を行う。
- 3 役員以外の理事は、事務局各部のいずれかに所属し会務を分担する。
- 4 各講座を代表する理事は、毎年4月に所属する会員の会費を集約し、事務局に提出する。

第10条 1 顧問を置くことができる。顧問は理事会の同意を得て会長が委嘱する。

- 2 顧問は会議に出席して意見を述べることができる。

第11条 1 役員・理事の任期は2年とし、再任は妨げない。

- 2 任期途中の選解任は、役員は理事会と総会、理事は理事会の承認を要する。
- 3 補欠より選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役員・理事はその任期満了でも、後任者が就任するまで、その職務を行う。

第5章 会議

第12条 1 理事会は必要に応じ、会長が招集する。但し、理事の3分の1以上から、会議の目的を示して請求のあった時は、理事会を招集しなければならない。

- 2 理事会の議長は、会長又は会長の指名する者とする。
- 3 理事会は理事2分の1以上出席しなければ、議事を開き議決することはできない。
- 4 理事会の議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決す。

第13条 役員会は役員で構成し、必要に応じ会長が招集する。以下理事会に準ずる。

第14条 1 通常総会は毎年1回会長が招集する。

- 2 臨時総会は、理事会が必要と認めた時、会長が招集する。
- 3 総会の議長は総会出席者の中から指名する。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長が決する。

第15条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

- 1 事業報告及び収支決算。
- 2 会計監査報告。
- 3 事業計画及び収支予算
- 4 その他、理事会に於いて必要と認めた事項。

第6章 会計

第16条 経費は会費ならびに後援費、その他の収入による。

第17条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 会則の変更

第18条 この会則は、総会の議決を得なければ変更することができない。

第8章 補足

第19条 この会則施行についての細則は、理事会の議決を得て別に定める。

第20条 この会則は、平成27年9月5日より施行する。

編集後記

- ☆ 「層富三七号」をお届けします。本年度は文化協会の役員改選があり、役員三名が新任となり、理事の方も一部交代されました。当協会の講座や同好会は、二十講座と減少傾向にあり、何とか復活できるように新講座の参入を希望しています。
- ☆ 「層富」は創刊当初に多数の寄稿文や文芸作品を掲載しておりました。来期は、「グループからの便り」だけでなく皆様からの様々な投稿や寄稿をいただき、「層富」をバラエティに富んだ紙面にしたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。
- ☆ 当文化協会は設立して三十七年が経過しますが、四〇周年記念行事を開催するかどうか議論すべき時期にきています。今は何とか組織維持が出来ますように今後も皆様方のご協力をお願いします。
- ☆ 平城ニュータウン文化協会のホームページがあることをご存じだと思います。今までは検索しづらい面がありましたので、ホームページ会社に申し入れて検索を容易にしてみました。当ホームページでは文化協会の歴史や機関誌「層富」そして文化協会ニュースなどを掲載し、読みごたえのある内容になっております。是非パソコンやスマートフォンで今一度ご覧下さい。アドレスは、<https://nimbunkajindofree.com/>。
- ☆ 昨年の文化祭は、記念講演として奈良大学教授 土平 博先生の講演がありました。本来ですと講義内容を掲載するのですが原稿の手配が諸般の事情で叶わず掲載を断念する結果となってしまいました。
- ☆ 「グループ便り」はそれぞれの活動状況をご報告いただき、今後の新入会員の増員に繋がるよう期待をしています。
- ☆ 今年も読みやすい「層富」を目指して字体、構成内容、イラストを多用するなどして、本誌をお届けしています。更なる改善点などあればご提案願います。
- ☆ 本編集は編集委員のご協力でここに迄に仕上げる事ができ感謝をしています。今後もより読みやすく、会員増加に繋がる「層富」にするため皆さんのご意見をお寄せ下さい。

《文責》 明政 文男

【編集】 層富編集部

日比野豊、打田照子、岡典子、熊本悦子、谷口三枝子、杉田敏江、明政文男